

児童生徒の自殺は学校の長期休業明けの時期に増加する傾向があることを踏まえ、保護者、地域住民、関係機関等と連携の上、児童生徒の自殺予防に係る取組を実施していただくようお願いいたします。

7 初児生第 25 号

令和 7 年 12 月 12 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課長
各指定都市教育委員会指導事務主管課長
各都道府県私立学校主管課長
附属学校を置く各国立大学法人担当課長
附属学校を置く各公立大学法人担当課長 殿
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第 12 条
第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の担当課長

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長

千々岩 良英
(公 印 省 略)

児童生徒の自殺予防に係る取組について（通知）

標記については、これまでも自殺対策基本法（平成 18 年法律第 85 号）等に基づき、学校等において、児童生徒の自殺予防の取組の充実に取り組んでいただいているところです。

しかしながら、厚生労働省・警察庁の自殺統計によると、令和 6 年の児童生徒の自殺者数は、529 人（令和 5 年：513 人）と過去最多であることが明らかになりました（別添資料 1）。また、令和 7 年の児童生徒の自殺者数についても、1 月から 10 月までの暫定値で 420 人（令和 6 年同期間：448 人（確定値））と、高い水準で推移しております（別添資料 2）。如何なる事情であれ、子供たちが自ら命を絶つようなことはあってはならず、極めて重大に受け止める必要があります。

児童生徒の自殺は、長期休業明けの前後に増加する傾向にあり、今年 1 月の児童生徒の自殺者数は 50 人（暫定値）であり、各月と比較しても多い月となっております。

こうした状況を踏まえると、児童生徒の尊い命を救うため、特に長期休業の開始前から長期休業明けの時期にかけては、学校として、児童生徒の自殺予防について組織体制を整え、取組を強化することが必要です。

また、令和 6 年の児童生徒の自殺の原因・動機として、学校問題のうち、約 5 割が学業不振や入試、進路に関する悩みであることが分かっており（別添資料 3）、今年 10 月 29 日に

公表した「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」においても、自殺した児童生徒が置かれていた状況として、学校に係る問題のうち進路問題や、学業等不振に係るものが多くなっています。特に、この長期休業期間は、成績や進路等に関する悩みを抱える児童生徒も多くいると考えられることも踏まえて、進路指導の充実や見守り活動を丁寧実施していただくようお願いします。

さらに、「自殺対策基本法の一部を改正する法律の一部の施行について（通知）」（令和7年12月1日付け こ支総第262号、7文科初第1793号、社援発1201第1号 こども家庭庁支援局長、文部科学省総合教育政策局長、文部科学省初等中等教育局長、文部科学省高等教育局長、厚生労働省社会・援護局長通知）においても周知しているとおり、第217回国会において成立した自殺対策基本法の一部を改正する法律（令和7年法律第64号）について、令和7年12月1日にその一部が施行されたところです。

今般、施行された内容において、こどもに係る自殺対策に社会全体で取り組むことが基本理念に追加されるとともに、こどもの自殺の防止等について学校の責務が明記されたところ
です。各学校・教育委員会等におかれましては、従前より自殺予防に向けた取組を行っていただいているところですが、今般の法改正を踏まえて、関係機関との連携強化を含め、学校における自殺予防の取組の一層の充実を図っていただくようお願いいたします。

その上で、長期休業の開始前から長期休業明けにおける児童生徒の自殺予防に向けた取組
に関し、下記のとおり、学校として、保護者、地域住民、関係機関等と連携の上、全力で取組
んでいただくよう、お願いいたします。

また、厚生労働省からは各都道府県・指定都市・市区町村自殺対策主管部局長に対して、「令和7年度「自殺対策強化月間」に向けた啓発活動等の推進について（依頼）」（令和7年12月12日付け参自発1212第2号厚生労働省大臣官房参事官（自殺対策担当）通知）が発出されていますので、自殺対策主管部局と連携し、啓発活動等の推進に取り組んでいただくようお願いいたします（別添資料4）。

これらのことについて、都道府県・指定都市教育委員会担当課におかれては所管の学校等及び域内の市（指定都市を除く。）区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管課におかれては所轄の学校法人等を通じてその設置する学校に対して、国公立大学法人附属学校事務主管課におかれてはその設置する附属学校に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び学校に対して、周知を図るとともに、児童生徒の自殺予防について特段の御配慮をお願いします。

記

1. 学校における早期発見に向けた取組について

各学校において、長期休業の開始前から、アンケート調査、教育相談等を実施するととも

に、一人一人に対して面談を行うなど、悩みや困難を抱える児童生徒の早期発見に努めること。

その際、児童生徒の心や体調の変化や、個別の児童生徒の状況を多面的に把握する ICT ツールを適切に活用することにより、教職員がこれまで気付いていなかった児童生徒の心身状態に気付くことができ、教職員の児童生徒理解の幅が広がり、悩みや不安を抱えた児童生徒の早期発見や早期支援につながると考えられる。

「こどもの自殺対策緊急強化プラン」（令和 5 年 6 月 2 日 こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議決定）では、「1 人 1 台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指す」としていることを踏まえ、文部科学省においては、児童生徒の心や体調変化の早期発見のため「1 人 1 台端末を活用した心の健康観察」の導入（※）を推進しているところ、今年度から、学校の ICT 環境整備 3 か年計画（2025～2027 年度）における、1 人 1 台端末を活用した児童生徒の学校生活を支援するツール（例：児童生徒の心や体調の変化を早期に発見し、支援するツール）の整備に必要な経費を踏まえて地方財政措置が講じられることとなった（別添資料 5）。

以上を踏まえ、各教育委員会及び学校においては、1 人 1 台端末の活用等による心の健康観察などによる SOS の早期把握に努め、児童生徒の自殺の未然防止に取り組むこと。

さらに、学校が把握した悩みや困難を抱える児童生徒や、いじめを受けた又は不登校となっている児童生徒等に対しては、長期休業期間中においても、全校（学年）登校日、部活動等の機会を捉えた面談の実施や、保護者への連絡、家庭訪問等により継続的に児童生徒の様子を確認すること。

また、児童生徒の自殺の背景の一つとして精神疾患が挙げられていることを踏まえ、学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細やかな健康観察や教育相談の実施等により、児童生徒の状況を的確に把握し、スクールカウンセラー等による支援を行ったり、スクールソーシャルワーカー等を活用して医療等の関係機関に繋いだりするなど、心の健康問題への対応を徹底すること。

（※）「1 人 1 台端末を活用した心の健康観察」の導入に当たっては、文部科学省において、1 人 1 台端末等を活用して、無償・有償で利用できる健康観察・教育相談システムを別添資料 6 のとおり整理するとともに、Google フォーム又は Microsoft Forms を活用して同様のアンケートフォームを作成するためのマニュアルを別添資料 7 のとおり作成しているので、合わせて参照いただきたい。なお、利用にあたっては各自治体における教育情報セキュリティポリシー等もあわせてご確認ください。

○教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和 7 年 3 月)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm



2. 教育相談体制の構築や学校を中心とした組織的な対応等について

生徒指導提要（改訂版）に記載しているとおり、自殺への対応については、専門家といえども1人で抱えることができないほど重く、かつ困難な問題であり、きめ細かな継続的支援を可能にするためには、校内の教育相談体制を基盤に、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや関係機関の協力を得ながら、全教職員が自殺予防に組織的に取り組むことが必要である。そのため、校内研修会などを通じて、教職員間の共通理解を図るとともに、実効的に機能する自殺予防のための教育相談体制を築くこと（詳細は、別添資料8参照）。

その上で、児童生徒が自殺をほのめかしたり、深刻な自傷行為に及んだりするなど、自殺やその他の重大な危険行為の予兆を捉えた際には、教職員が抱え込まず、教育相談体制の構成メンバーを基盤に、校長をリーダーとする「校内連携型危機対応チーム」を組織し、危険度に応じた対応を行うこと。また、平常時に、危機対応のための態勢づくりやマニュアルづくりなどを進めておくこと。

さらに、実際に自殺や自殺未遂が発生した場合には、校長のリーダーシップの下、「校内連携型危機対応チーム」を中心にしつつも、学校だけで抱え込むのではなく、教育委員会等や専門家、関係機関のサポートを受けながら、全教職員の力を結集して対応することが必要であり、校内連携型危機対応チームを核に、教育委員会等、専門家、関係機関との連携・協働に基づく「ネットワーク型緊急支援チーム」を立ち上げ、周囲の児童生徒や教職員等への心のケアも含めた対応に当たること（詳細は、別添資料9参照）。

○生徒指導提要（改訂版）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm



3. 相談窓口の周知及び自殺予防教育の実施等について

「SOS の出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育を実施すること等により、児童生徒自身が心の変化や危機に気付き、身近な信頼出来る大人に相談できる力を培うとともに、児童生徒が安心して SOS を出すことのできる環境の整備に努めること。

さらに、「24 時間子供 SOS ダイアル」を始めとする電話相談窓口や、SNS 等を活用した相談窓口の周知を積極的に行うこと。なお、相談窓口の周知にあたっては、教室など児童生徒が気付きやすい場所への掲示や1人1台端末を活用する際のポータルサイト、ブラウザのお気に入り機能等を活用して、各種相談窓口を周知するなどの方法も考えられる。また、複数の相談窓口を周知する場合は、悩みや不安を抱える児童生徒がどこに相談すべきか混乱してしまわないよう、必要に応じて相談窓口を整理し、周知すること。その際、文部科学省でまとめたホームページも参考にすること。

また、今般、こども家庭庁から、

- ・「こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム」を発足させ、こども・大人・社会のそれぞれに対して伝えたいメッセージ等を盛り込んだ「こどもの悩みに寄り

添える社会に向けて（中間報告）」を公表していること

- ・こうしたメッセージ等を広く社会全体に発信し、機運醸成を図ることを目的として、大人及び子ども向けの啓発漫画・啓発動画（以下 URL 参照）を作成し、こども家庭庁ウェブサイト内のページに掲載したこと

について、周知依頼があったところ（別添資料 10 参照）。

こども基本法（令和 4 年法律第 77 号）は、全てのこどもについて、個人として尊重されることや、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されることを基本理念として掲げており、文部科学省としても、社会の急激な変化とともに、児童生徒の発達上の多様性や家庭環境の複雑性も増している中、学校のみならず、社会全体として、児童生徒の悩みを受け止める機運の醸成は重要であると考えているところ、今回作成された啓発漫画・啓発動画等を積極的に御活用いただくなどして、こどもの悩みに寄り添える社会に向けた機運の醸成に努めること。

（※）自殺予防教育については、「子供に伝えたい自殺予防－学校における自殺予防教育導入の手引－」を参照。特に、自殺を企図する兆候については、「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」第 2 章を参照いただきたい。

○子供に伝えたい自殺予防－学校における自殺予防教育導入の手引－

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/063_5/gaiyou/1351873.htm



○教師が知っておきたい子どもの自殺予防

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/046/gaiyou/1259186.htm



○子供の SOS の相談窓口

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm



○こども・大人のみなさん向けの動画・漫画（こども家庭庁ホームページ）

<https://www.cfa.go.jp/councils/nayami-uketomeruba/koho>



4. 保護者に対する家庭における見守りの促進

保護者に対して、長期休業期間中の家庭における児童生徒の見守りを行うよう促すこと。保護者が把握した児童生徒の悩みや変化については、積極的に学校に相談するよう、学校の相談窓口を周知しておくこと。その際、「24 時間子供 SOS ダイヤル」を始めとする電話相談窓口や、SNS 等を活用した相談窓口についても、併せて保護者に対して周知しておくこと。なお、これらの各家庭における保護者による見守りについては、長期休業の開始前又は長期休業期間中における保護者会等の機会や学校（学級）通信を通じて、保護者に促すことが考えられる。学校は、保護者から相談を受けた時には、必要に応じて関係機関と連携しながら、適切に対応すること。

5. 学校内外における集中的な見守り活動について

長期休業明けの前後において、学校として、保護者や地域住民の参画を得て、また、関係機関等と連携して、学校における児童生徒への見守り活動を強化すること。さらに、放課後から夜間等における学校外の見守り活動については、保護者又は地域住民その他の関係者が担う体制に委ねつつも、自殺未遂等の事案が発生した場合に速やかに対応することができるよう、教育委員会等において、学校、警察等関係機関、地域の連携を一層強化する体制を構築し、取組を実施すること。その際、警察との連携においては、「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について（通知）」（令和 5 年 2 月 7 日付け 4 文科初第 2121 号）において指定を求めている「学校・警察連絡員」が情報共有を図り、緊急を要する事案を含め緊密に連携して対応に当たること。特に、学校において、児童生徒が自殺を企図する可能性が高い場所については、長期休業明けの前後の時期に見守り活動を集中的に実施することが有効であること。

6. ネットパトロールの強化について

児童生徒によるインターネット上の自殺をほのめかす等の書き込みを発見することは、自殺を企図している児童生徒を発見する端緒の一つである。このため、教育委員会等が実施するネットパトロールについて、長期休業明けの前後において、平常時よりも実施頻度を上げるなどしてネットパトロールを集中的に実施すること。自殺をほのめかす等の書き込みを発見した場合は、即時に警察に連絡・相談するなどして当該書き込みを行った児童生徒を特定し、当該児童生徒の生命又は身体の安全を確保すること。また、警察等関係機関においてネットパトロールが実施されている場合には、当該関係機関との積極的な連携に努めること。

【添付資料】

別添資料 1：【令和 6 年（確定値）】小中高生の自殺者数の年次推移

別添資料 2：小中高生の自殺者数の最近の動向（月別総数）

別添資料 3：小中高生の原因・動機別件数（令和 6 年と令和 5 年の比較）

別添資料4：「令和7年度「自殺対策強化月間」に向けた啓発活動等の推進について（依頼）」
（令和7年12月12日付け参自発1212第2号厚生労働省大臣官房参事官（自殺対策担当）通知）

別添資料5：1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入推進

別添資料6：1人1台端末を活用した健康観察・教育相談システム一覧

別添資料7：健康観察・教育相談アンケート作成マニュアル

別添資料8：自殺予防のための教育相談体制の構築（生徒指導提要抜粋）

別添資料9：自殺危機の早期発見・早期対応や自殺未遂後の対応

別添資料10：「こどもが悩みを打ち明けられる環境づくりに向けた広報活動への協力について（依頼）」（令和7年11月25日付けこども家庭庁支援局総務課事務連絡）

【参考資料】

○児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm



○「子どもの自殺が起きたときの緊急対応の手引き」

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2016/11/11/1304244_01.pdf



○小学生用啓発教材「わたしの健康」、中学生用啓発教材「かけがえのない自分 かけがえのない健康」、高校生用啓発教材「健康な生活を送るために」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1353636.htm



【担当】

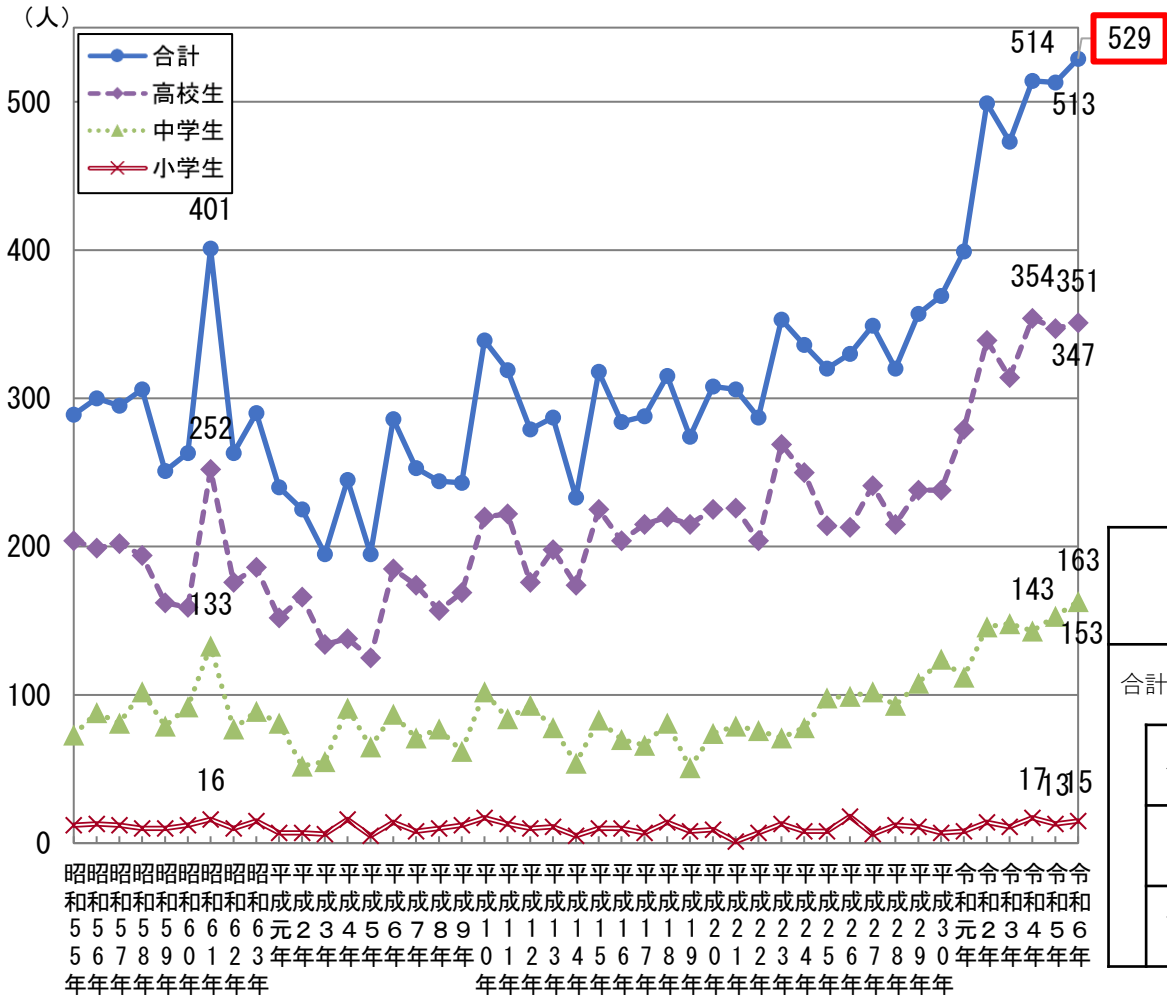
文部科学省初等中等教育局児童生徒課
生徒指導室生徒指導企画係

電 話 03（5253）4111（内線3298）

03（6734）3298（直通）

E-mail s-sidou@mext.go.jp

○小中高生の自殺者数は、近年増加傾向が続き、令和6年では529人と、統計のある1980（昭和55）年以降、最多の数値となった。



【令和5年、令和6年】
小中高生の自殺者数年次比較

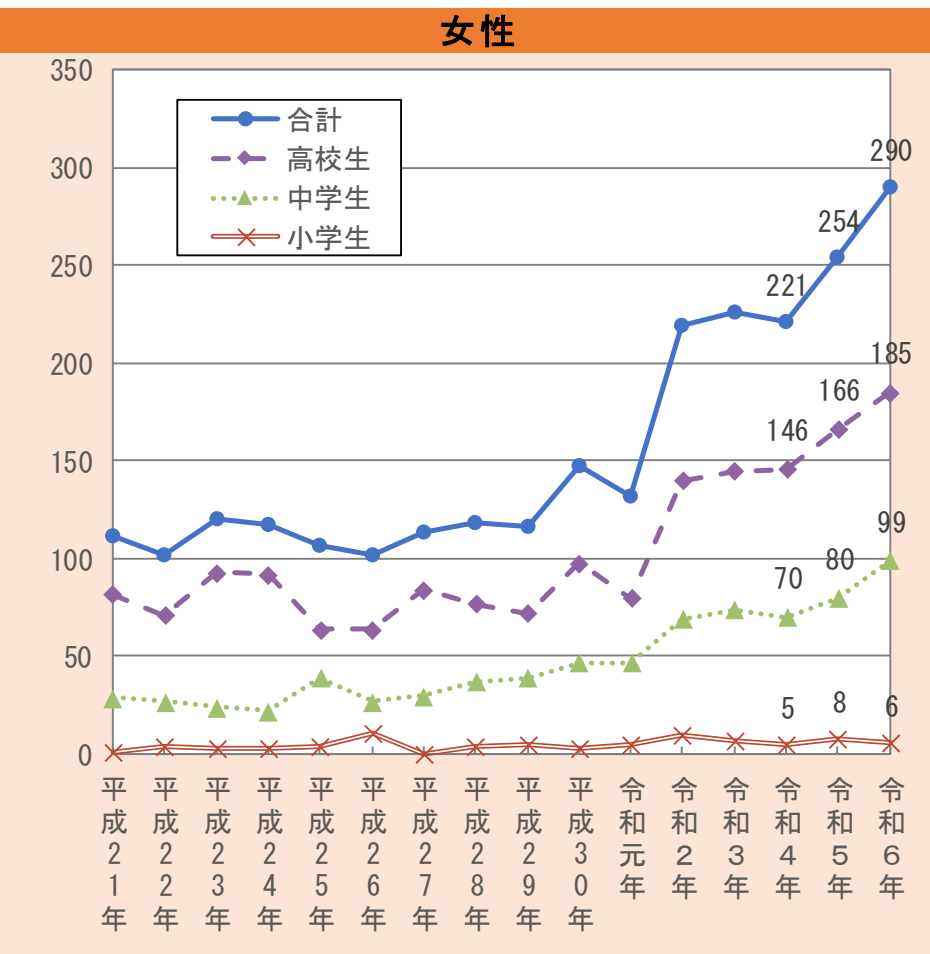
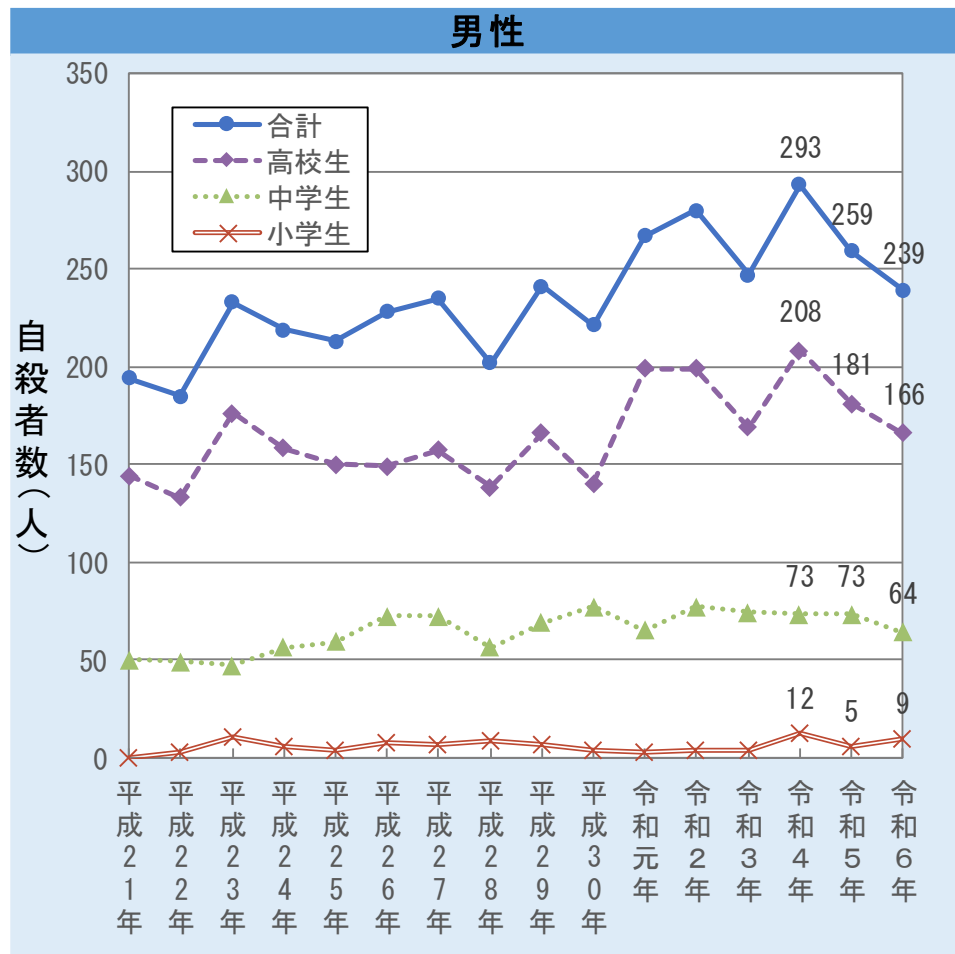
	令和5年	令和6年	対前年増減数 (R6 - R5)
合計	513人	529人	16
小学生	13人	15人	2
中学生	153人	163人	10
高校生	347人	351人	4

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

【令和6年（確定値）】小中高生の自殺者数年次推移（男女別）

令和7年3月28日現在

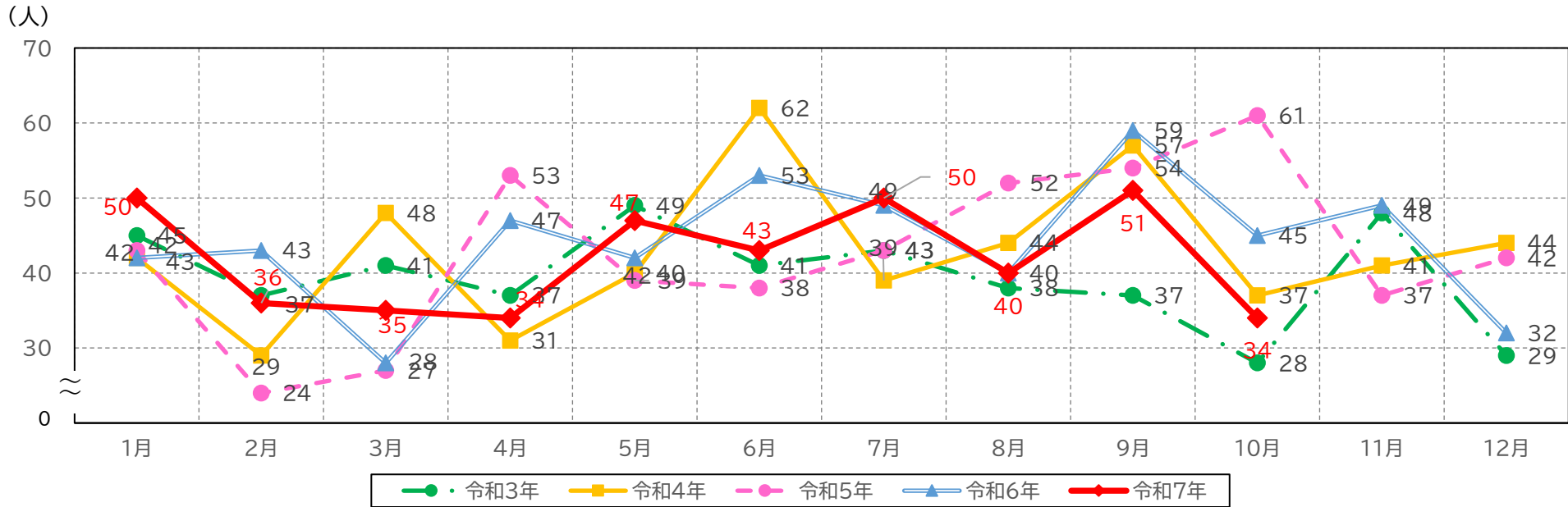
○小中高生の自殺者数を男女別にみると、男性は2年連続で減少したが、女性は2年連続で増加し、統計のある1980（昭和55）年以降、最多の数値となった。



資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

小中高生の自殺者数の最近の動向(月別総数)

令和7年11月17日現在



(単位:人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	1月~10月
令和7年	小中高生計	50	36	35	34	47	43	50	40	51	34			420	420
	うち小学生	1	0	0	1	2	2	1	1	0	0			8	8
	うち中学生	10	13	12	8	14	13	12	14	15	13			124	124
	うち高校生	39	23	23	25	31	28	37	25	36	21			288	288
令和6年	小中高生計	42	43	28	47	42	53	49	40	59	45	49	32	529	448
	うち小学生	5	0	0	1	1	0	1	0	4	1	1	1	15	13
	うち中学生	18	14	10	16	13	15	17	10	13	12	15	10	163	138
	うち高校生	19	29	18	30	28	38	31	30	42	32	33	21	351	297
対前年増減数(月別) <7/6>	小中高生計	8	-7	7	-13	5	-10	1	0	-8	-11			-109	-28
	うち小学生	-4	0	0	0	1	2	0	1	-4	-1			-7	-5
	うち中学生	-8	-1	2	-8	1	-2	-5	4	2	1			-39	-14
	うち高校生	20	-6	5	-5	3	-10	6	-5	-6	-11			-63	-9
対前年増減率(月別) <7/6>	小中高生計	19.0%	-16.3%	25.0%	-27.7%	11.9%	-18.9%	2.0%	0.0%	-13.6%	-24.4%			-20.6%	-6.3%
	うち小学生	-80.0%	-	-	0.0%	100.0%	-	0.0%	-	-100.0%	-100.0%			-46.7%	-38.5%
	うち中学生	-44.4%	-7.1%	20.0%	-50.0%	7.7%	-13.3%	-29.4%	40.0%	15.4%	8.3%			-23.9%	-10.1%
	うち高校生	105.3%	-20.7%	27.8%	-16.7%	10.7%	-26.3%	19.4%	-16.7%	-14.3%	-34.4%			-17.9%	-3.0%

※令和6年は確定値、令和7年は暫定値。

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

小中高生の原因・動機別件数（令和6年と令和5年の比較）

令和7年3月28日現在

（単位：件）

令和6年		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み（入試以外）	いじめ	学友との不和（いじめ以外）	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他		
小学生	総計	5	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4
	男性	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	女性	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
中学生	総計	52	41	1	0	7	81	14	12	9	5	23	2	0	16	18	25
	男性	24	11	0	0	5	28	7	7	3	2	3	1	0	5	7	13
	女性	28	30	1	0	2	53	7	5	6	3	20	1	0	11	11	12
高校生	総計	51	119	4	3	37	189	51	21	42	4	37	6	0	28	35	44
	男性	23	40	3	2	23	98	29	10	20	0	17	5	0	17	20	22
	女性	28	79	1	1	14	91	22	11	22	4	20	1	0	11	15	22
合計	総計	108	164	5	3	44	272	65	33	51	9	60	8	0	46	54	73
	男性	50	54	3	2	28	127	36	17	23	2	20	6	0	23	28	37
	女性	58	110	2	1	16	145	29	16	28	7	40	2	0	23	26	36

（件）

令和5年		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み（入試以外）	いじめ	学友との不和（いじめ以外）	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他		
小学生	総計	6	1	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	1	4	3
	男性	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2
	女性	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1
中学生	総計	46	26	1	0	4	92	28	12	12	1	20	2	0	17	19	24
	男性	23	10	1	0	3	43	15	7	7	0	5	0	0	9	9	8
	女性	23	16	0	0	1	49	13	5	5	1	15	2	0	8	10	16
高校生	総計	64	120	4	4	29	166	36	24	41	0	27	4	1	33	36	61
	男性	37	53	2	2	7	109	22	18	29	0	16	3	0	21	21	26
	女性	27	67	2	2	22	57	14	6	12	0	11	1	1	12	15	35
合計	総計	116	147	5	4	33	261	65	36	53	1	48	6	1	51	59	88
	男性	61	63	3	2	10	154	38	25	36	0	21	3	0	31	32	36
	女性	55	84	2	2	23	107	27	11	17	1	27	3	1	20	27	52

前年差		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳
								学業不振	入試に関する悩み	進路に関する悩み（入試以外）	いじめ	学友との不和（いじめ以外）	教師との人間関係	性別による差別	学校問題その他		
小学生	総計	-1	3	0	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	0	0	1	-3	1
	男性	2	3	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1	0
	女性	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	1	-2	1
中学生	総計	6	15	0	0	3	-11	-14	0	-3	4	3	0	0	-1	-1	1
	男性	1	1	-1	0	2	-15	-8	0	-4	2	-2	1	0	-4	-2	5
	女性	5	14	1	0	1	4	-6	0	1	2	5	-1	0	3	1	-4
高校生	総計	-13	-1	0	-1	8	23	15	-3	1	4	10	2	-1	-5	-1	-17
	男性	-14	-13	1	0	16	-11	7	-8	-9	0	1	2	0	-4	-1	-4
	女性	1	12	-1	-1	-8	34	8	5	10	4	9	0	-1	-1	0	-13
合計	総計	-8	17	0	-1	11	11	0	-3	-2	8	12	2	-1	-5	-5	-15
	男性	-11	-9	0	0	18	-27	-2	-8	-13	2	-1	3	0	-8	-4	1
	女性	3	26	0	-1	-7	38	2	5	11	6	13	-1	-1	3	-1	-16

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

参 自 発 1212 第 2 号
令和 7 年 12 月 12 日

都道府県
各 指定都市 自殺対策主管部（局）長 殿
市区町村

厚生労働省大臣官房参事官（自殺対策担当）
（ 公 印 省 略 ）

令和 7 年度「自殺対策強化月間」に向けた啓発活動等の推進について（依頼）

自殺対策の推進につきましては、平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「自殺対策基本法」（平成 18 年法律第 85 号）第 7 条第 2 項において、3 月の 1 ヶ月間は「自殺対策強化月間」と位置づけられています。また、同条第 4 項において国及び地方公共団体は、自殺対策を集中的に展開するものとし、関係機関及び関係団体と相互に連携協力を図りながら、相談事業その他それにふさわしい事業を実施するよう努めるものと規定されています。

あわせて、「自殺総合対策大綱」（令和 4 年 10 月 14 日閣議決定）において、自殺対策強化月間には国、地方公共団体、関係団体及び民間団体等が連携して『いのち支える自殺対策』という理念を前面に打ち出し「自殺は、その多くが追い込まれた末の死である」「自殺対策とは、生きることの包括的支援である」という認識の浸透も含めて啓発活動を推進すること、また、啓発活動によって援助を求めるに至った悩みを抱えた人が必要な支援を受けられるよう、支援策を重点的に実施することとされています。

これらの趣旨を踏まえ、厚生労働省では関係府省庁、地方公共団体、関係団体及び民間団体等とともに、支援策及び啓発活動を強力に推進することとしており、特に例年 3 月は各月の中でも最も自殺者数が多い傾向にあることを踏まえて、自殺対策強化月間において集中的な啓発活動を推進しています。

令和 6 年の小中高生の自殺者数は過去最多の 529 人となっており、令和 5 年 6 月 2 日に取りまとめられた「こどもの自殺対策緊急強化プラン」に基づき、引き続き、こどもの自殺対策を推進していくこととしています。さらに、各都道府県・指定都市における「こども・若者の自殺危機対応チーム」の設置に向けた取組の推進、ゲートキーパー研修の受講勧奨等をお願いいたします（ゲートキーパー研修修了者数：8,981 名（3 月 31 日時点））。

なお、文部科学省から、別添のとおり、「児童生徒の自殺予防に係る取組について」（令和 7 年 12 月 12 日付け 7 初児生第 25 号文部科学省初等中等教育局児童生徒課長通知）が発出されておりますので、教育委員会担当課等との連携を図っていただくようお

願いいたします。

つきましては、各都道府県・指定都市・市区町村におかれても、自殺対策強化月間に向けて各種相談支援及び啓発事業等に積極的に取り組んでいただくとともに、貴管内の関係機関、関係団体等に自殺対策強化月間に向けた取組を呼びかけていただくようお願いいたします。あわせて、下記についてご協力をお願いいたします。

記

1 広報ポスターの掲示及び広報動画の活用について

今年度も引き続き、啓発活動の一環として自殺対策強化月間に関する広報ポスターを作成いたしますので、多くの人が集まる場所への掲示（公的機関の他、大型商業施設、スーパー、コンビニ、金融機関等）をお願いいたします。

また、ポスターは、1月下旬を目途にお送りする予定ですが、3月の自殺リスクの高まりに対応するため、自殺対策強化月間を迎える前（2月中）から掲示いただくことが効果的と考えますので、準備が整い次第、早いうちから掲示いただくようお願いいたします。

あわせて、自殺対策強化月間に関する広報動画も作成しますので、SNS等での情報発信や関係機関、関係団体への周知につきましてもご協力をお願いいたします。

※3月は特に40代、50代を中心とした中高年男性の自殺者数が多くなる傾向を踏まえて、中高年男性に相談を呼びかけるポスターと動画を作成予定です。このため、ポスターの掲示場所については、各地域において中高年男性が多く利用する施設への掲示についてご配慮をお願いいたします。なお、全国の鉄道機関に対しては、厚生労働省から直接配布を行う予定です。

2 自殺対策強化月間における取組の強化について

こころの健康相談統一ダイヤルにつきましては、例年、自殺対策強化月間の取組に併せて、相談時間の延長、回線の増設等相談体制の強化を図っている自治体からの報告を受けており、相談員の確保等のご尽力に感謝申し上げます。

今年度も、自殺対策強化月間における相談事業の強化をお願いいたします。

※その際、一般的に相談件数が少ない傾向のある男性が相談につながるよう、例えば、広報ポスターを活用して中高年男性への呼びかけを行うこと、男性も安心して相談できることをホームページやパンフレット等で改めて明記すること、男性を優先した時間帯を設定すること、男女共同参画の取組として実施されている「男性のための相談」と連携すること、などの配慮・工夫についてご検討をお願いいたします。

3 自殺対策強化月間に実施する取組の公表について

貴自治体（都道府県におかれては管内市区町村分も含む。）が令和7年度「自殺対策強化月間」にあわせて実施する取組については、①「支援情報検索サイト」への登録及び公表、②関係府省庁・関係団体の取組とともに厚生労働省HP等において公表

を行う予定です。「支援情報検索サイト」への登録について、ご協力くださいますようお願いいたします。

(参考) 令和7年度自殺予防週間の主な取組(厚生労働省 HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/r7_jisatsuyoboushukan.html

以上

【本件連絡先】

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 社会・援護局 総務課自殺対策推進室

電話：03-5253-1111(内線2837)

担当者：佐藤、渡邊、山本

E-mail：jisatsutaisaku@mhlw.go.jp

別添資料5

1人1台端末を活用した 健康観察・教育相談システム一覧

令和7年12月

初等中等教育局児童生徒課

1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進



趣旨

- ・ **こどもの自殺対策緊急強化プラン（令和5年6月2日）** 1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指す。
- ・ **誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）（令和5年3月31日）** 1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進とされており、これらを踏まえ、1人1台端末を活用した児童生徒の心や体調の変化の早期発見や適切な支援につなげるためのシステム・マニュアル等について、下記の通り整理した。

無償

会社名	システム名	機能	機能詳細
Google	Google フォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康観察 ・ 相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート機能（健康観察に活用） ・ 記述式アンケート機能等を用いた相談窓口 ・ リンク、QRコード、メールによるフォームの共有 ・ Google スプレッドシート等へのデータのエクスポート ・ Google Apps Script を利用したアラート機能等の実装
Google	Looker Studio 【Google】Looker Studio in a minute -YouTube	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google スプレッドシート等のデータソースから表やグラフ等を作成し、データを可視化 ・ データの自動更新や様々なフォーマットのグラフにより、多様な角度からの迅速な分析が可能に
Microsoft	Microsoft Forms	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康観察 ・ 相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート機能（健康観察に活用） ・ 記述式アンケート機能等を用いた相談窓口 ・ リンク、QRコード、メールによるフォームの共有 ・ Microsoft Excel へのデータのエクスポート ・ Microsoft Excel のマクロによるアラート機能
Microsoft	Reflect 【Microsoft Teams for Education】Reflect - YouTube	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の質問項目を選択して、アンケートを簡単に作成 ・ 文字だけでなくキャラクターを使った選択肢 ・ 健康観察等に特化し、Microsoft Formsをより簡易に利用




Google フォーム、Microsoft Forms 用いた健康観察・相談窓口の作成方法([リンク](#))

Looker Studio、Reflect の活用事例([リンク](#))

1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進

有償

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額） （税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
一般社団法人 スクールセーフティネット・リサーチセンター 	子ども支援アプリ ぶりんP-Lin https://p-lin.org/	応相談 ※初年度無料	・健康観察 ・相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA端末等を利用し毎日チャットボット形式で約3分前後で回答 ・生徒指導提要（改訂版）に基づく児童生徒理解、生徒指導・教育相談に活用可能 ・不登校児童生徒も含めたすべての子どもの成長・発達支援 ・児童生徒が自分の生活を振り返ることができるセルフモニタリング機能 ・「ひと言日記」による児童生徒と教師とのコミュニケーションを促進する機能 ・困ったときには学校内外の教師や相談機関につなげることができる機能（SOSボタン有） ・教師全員で入力結果を確認でき、チーム学校による対応に活用可能
一般社団法人 RAMPS 	RAMPS（ランプス） https://ramps.co.jp	18.3円（年間200円） + 1学校あたり基本料 年間7万円	・健康観察 ・相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺リスク評価を含む心身不調のスクリーニング指標を中心に構成（国内外研究知見を参考に） ・1次検査は子どもが一人でそと端末回答。2次検査では教員が端末の質問文を参考に詳しく問診 ・自殺リスクは4段階評価。「高リスク」判定の場合、予め登録された関係者に即時アラート通知 ・データ分析・可視化・自動リポート作成機能を充実。自殺リスクが高まる時期や学校の個別傾向等をダッシュボードで提示 ・東京大学での研究をもとに開発されたシステム。研究・試行段階含め全国の学校で8年間の教育現場への導入実績
公益社団法人 子どもの発達科学研究所 	こころとからだの連 絡帳 デイケン https://service.kohatsu.org/dayken/	応相談 29.7円～66円 （※人数に応じて変動） 年間契約が基本。年 度途中からの導入は 応相談	・健康観察 ・相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝1分程度の簡易な入力で、子どもの心身の状態を把握し、必要な支援に早期対応が可能 ・研究成果をベースに、最適なタイミングで支援アラートを発出できるよう、常にバージョンアップ ・「相談ボタン」で、声に出せない子どもたちのSOSもキャッチアップし、担当、学校へ伝える ・追加料金なしで、子どものメンタル状態を把握する『NiCoLi』、いじめ把握と支援につなげる『いじめDアンケート・いじめ介入支援システム』、学校の雰囲気可視化する『学校風土D調査』も同時に利用可能。多面的なアセスメントを実施

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
公益社団法人 子どもの発達科学研究所 	こころの健康観察 NiCoLi（ニコリ） https://service.kohatsu.org/nicoli/	応相談 29.7円～66円 （※人数に応じて変動） 年間契約が基本。年度途中からの導入は応相談	・健康観察 ・相談窓口	・早期兆候を示すメンタルヘルスの不調を科学的根拠を元にスクリーニング ・科学的根拠に基づく質問項目。簡便なシステム。10分～15分程度で回答。児童生徒の負担も少ない ・先生は即時で結果確認可能。回答後すぐに分析結果を知ること、早期介入を実現。深刻化を防止 ・個別のフィードバックシートで、児童生徒が自身の状態を把握したり、保護者との共有も可能 ・結果からの追加アセスメント、フォローアップも用意 ・追加料金なしで、毎日の健康観察『デイケン』、いじめ把握と支援につなげる『いじめDアンケート・いじめ介入支援システム』、学校の雰囲気可視化する『学校風土D調査』も同時に利用可能。特に『デイケン』との連携で、支援ニーズへの早期介入が可能になる。
コニカミノルタ株式会社 	tomoLinks https://tomolinks.konicaminolta.jp/	応相談 ※連絡帳機能、授業支援機能、動画共有機能など有効化する機能によって異なるため	・健康観察 ・相談窓口	以下の「こころの日記」機能によって児童生徒のSOSを出す選択肢を増やし相談のハードル下げること、早期発見と対応が可能になる。 [児童生徒]1日に1回、今日の気分を「とてもうれしい」「うれしい」「ふつう」「かなしい」から選んで登録 [児童生徒]誰にどのような内容で相談するかを選び自身のタイミングで相談希望を送信可能 [教員]学年やクラスでフィルタリングし、「今日の気分」や「相談の有無」の確認が簡便に可能 [教員]「かなしい」気分の登録や相談希望がある時にはアラートが出て見逃し防止 [教員]相談の状態(未確認)を制御できるため見落とし防止
スタンドバイ株式会社 	シャボテンログ https://shabotenlog.jp/	応相談	・健康観察 ・相談窓口（学校内）	・毎日、こころとからだの状態を4段階で記録する「こころとからだの健康観察」機能 ・先生やスクールカウンセラー等周囲の大人へ相談希望を出せる「話したいボタン」機能 ・子どもが、自身の状態をグラフ等で振り返り自己管理力を高める「フィードバック」機能 ・アンケートにより、深刻ないじめ状況にある子どもを先生が把握できる「いじめリスクアセスメント」機能
スタンドバイ株式会社 	STANDBY https://standby-corp.jp/products/	応相談	・相談窓口（学校外）	・いじめ等で悩んでいる時に、一人一台端末やスマートフォンから、自治体や学校が設けた専門の相談員に匿名で報告・相談することができる機能 ・STANDBY導入校へ、脱いじめ傍観者教育授業を実施。授業内でアプリの活用方法を説明する「SOSの出し方教育」も行う



※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒 1 人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
<p>東京メンタルヘルス株式会社</p> 	<p>スクールコンケア https://t-mental.co.jp/school/concare/school/</p>	<p>応相談 ※プランによる例) 1校当たり月額5,500円～（300名の学校で1人当たり月額18.3円～）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察 ・相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の気分を6種類のお天気マークで記録し、気分変動した児童生徒を自動検知して、担任やカウンセラー等に自動メール報告。同時に本人にも相談案内メールが自動送信され相談促進が可能 ・個人、クラス、学年、カレンダー別で閲覧、自分自身の経年データを閲覧、メモ日記、打刻忘れアラート、毎日の打刻時に元気が出るメッセージをランダム表示(ios、android対応)などの機能 ・講師派遣による心の授業、気分の変え方など30種類の教育動画提供可、コンディショニングケアを理解したカウンセラーを定期的に派遣、メール・SNS等によるアウトリーチ声掛けサポートを実施可、PマークとISMS認証を取得。300名以上の心理士や監修医師が所属。
<p>株式会社文溪堂</p> 	<p>ここたん https://ict.bunkei.co.jp/kokotan/</p>	<p>応相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察 ・相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任だけでなく学校や組織全体での傾向把握や「今」ケアが必要な子どもを見逃さないシステム ・毎日午前・午後の2回、児童生徒の心や体調の様子や変化を記録することができる心や体調変化の記録機能 ・相談したい悩みなどがある場合、校内全ての先生から子どもたち一人ひとりが「希望する先生」を選んで相談希望を出せる「聞いてほしい」機能 ・各学校の利用状況閲覧などが可能な教育委員会機能
<p>株式会社マモル</p> 	<p>マモレポ https://mamor.jp/mamorepo/</p>	<p>応相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察 ・相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> ・マモレポポスト:いじめ等の悩みを24時間児童生徒のタイミングでいつでも学校へオンライン投函可能 ・マモレポメッセージ:いじめ等の悩みをいつでもオンライン相談可能。外部相談員（教育委員会やカウンセラー）が数日以内に回答。双方向のやりとりができる機能 ・小学校低学年の児童にもわかりやすいデザイン。相談内容を「仲間外れ」や「言葉の暴力」などイラストで表示 ・自治体ごとの細かいカスタマイズにも対応可能。マモレポのTOPページには教材（読み物）を掲載でき、児童生徒にいじめの定義の理解を促す
<p>株式会社 ミライト・ワン・システムズ</p> 	<p>コンレポ (https://www.mirait-one-systems.co.jp/solution/conrepo.html)</p>	<p>応相談 例) 20円～100円（年間契約）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察 ・相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで児童・生徒の健康をサポートし、教員の負担を軽減することを目的に開発された教育現場向けのクラウド型・健康管理サービス。入力状況一覧や月別集計など用途に合わせた多彩な集計機能を搭載 ・生徒がスマートフォンやタブレットなどで簡単なアンケート（体温、目覚め、気分など）に日々回答することで、生徒自身の心身の変化を自覚させることができるほか、学校で適切な支援策を迅速に図ることができるよう、生徒の心身状況を日々把握することが可能

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒1人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
株式会社リーバー 	LEBER https://leber.jp/documents/leber_system_summery.pdf	22円～	・健康観察 ・相談窓口（プランによる）	・こころの健康観察：毎日の気分チェック/定期のメンタルヘルスチェック/フリーコメント入力/スクールカウンセラー予約希望 ・からだの健康観察：頭痛、腹痛、発熱、夜眠れない等の選択式/フリーコメント入力 ・オンライン医療相談：24時間365日医師が回答/チャットボット問診等で心身の症状を相談 ・出欠席連絡：なりすまし欠席防止機能/部活動外部委託先共有機能/プール・マラソンカード ・メッセージ・アンケート配信：クラス・部活・個別等/既読・未読/リマインド送信/PDF等添付 ・教育委員会専用管理画面：学校・保護者へのメッセージ配信/各学校の情報閲覧・管理
株式会社EDUCOM 	スクールライフノート https://sweb.educom.co.jp/weblog/files/educomhp/doc/713/1486.pdf	応相談 ※校務支援システムとの連携などによって変動するため	・健康観察 ・相談窓口	・日々の心情を4つの天気で記録し、気持ちの自己調整と先生からの適切な早期支援を実現 ・体調や体温、就寝・起床時間など日々の生活リズムに関する情報が登録可能 ・相談したい悩みがある場合、毎日使う画面から簡単に任意の先生を選んで相談内容を送信 ・時間割共有や連絡帳・生活ノートとしての機能も備え、日々の学校生活の中で無理なく活用可能 ・校務支援システムとの連携により、校務ダッシュボードで学級や子どもの状況をより深く分析・共有
株式会社LoiLo 	ロイロノート・スクール https://n.loilo.tv/ja/ https://help.loilonote.app/--5f8567143f41ab0022fa9651	応相談 ※導入初年度無料	・健康観察 ・相談窓口	・出欠席状況、検温記録の提出・確認 ・自由記述による児童生徒からのコメントの送付 ・児童生徒対象のアンケートの実施 ・毎日の振り返りの提出やフィードバックなどが可能
株式会社NTTデータ関西 	こども相談チャットアプリ ぽーち https://www.nttdat Kansai.co.jp/form/porch/	応相談 （年間契約）	・健康観察 ・相談窓口	・GIGA端末やスマホなど様々なモバイル端末で動作することも使いやすいUIのチャットアプリ ・日々のアプリ起動時に気分・体調を5段階で確認し、こども自身の自己認知をすすめる ・こどもの気分・体調の変化からシステムが自動でやさしく声掛け、こどもの自発的な相談を促す ・小学校低学年のこどもでも気軽に利用できるようにイラストを活用した匿名相談が可能 ・匿名相談のため、自治体の職員様だけでなく、第三者機関の専門の相談員様も加えた様々な人員で体制を組み、みんなでこどもを見守り、サポートすることが可能 ・相談の匿名性を維持し、気分・体調は先生が閲覧できる仕組みで、教室声掛けにも活用可能

※使用機能、使用する組織等の規模によって金額は変動する。

会社名	システム名	料金（生徒 1 人当たり月額）（税込）※	機能	機能詳細（他の機能含む）
株式会社 Welcome to talk 	スクールメンタルヘルスケア https://welcometotalk.co.jp/service_list	220円	・健康観察 ・相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・ココモニ：1日1回、声を送ってココロの状態をモニタリング。テクノロジー（音声感情センシング）を活用してSOSサインを逃さない。相談希望時のアンケートはWHO-5（精神的健康状態表）を採用 ・テキスト健康相談：“より気軽に手軽に相談したい”に応えるテキストカウンセリング。マイページから何回でも、利用可。24時間いつでも受付。営業日3日以内に心理士回答 ・オンライン健康相談：“もっとじっくり、もっと深く相談したい”に応えるオンラインカウンセリング。相談1回＝45分。選べる専門家（心理士・精神科医・児童精神科医）。両日中に報告書を提出。教員の負担軽減を図りながらきめ細かな支援を実現
コントリ 	こころの学校けんしんくん https://minamiwaki-ayama.hosp.go.jp/about/bumon/cnt000016.html	無料	・健康観察 ・相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期のこころの健診システム。小学5年生から中学3年生までの子供自身が質問紙に回答/体とこころの状態を点数化/健診結果を学校と保護者の方へお知らせ ・子供の困りごとを「からだのつらさ・生活リズム・学校での困りごと・こころのつらさ・おうちの暮らし」に分けて、適切な介入者（医師・専門医・スクールカウンセラー等）を選定 ・医療機関へ受診が必要と判定された子供には、「子どものこころ専門医」が相談窓口になり、学校医・かかりつけ医・専門医など地域の医療機関と相談し、受診先を紹介 ・本システムを利用いただく学校は、システム使用料は無料で、健診所要時間は20分程度

健康観察・教育相談アンケート作成マニュアル

本マニュアルでは、Google フォーム™、Microsoft Forms を用いて、下記の質問項目を設定する方法を解説いたします。

<質問項目>

- 1.日付 2.クラス 3.出席番号 4.名前 5.体調 6.心の状態(心の天気)
7.教育相談の希望 8.相談相手の指定 9.自由記述欄

※Google フォーム イメージ

※Microsoft Forms イメージ

健康観察・教育相談アンケート作成マニュアル

.....

<留意事項>

- ・児童生徒の回答を他の児童生徒が見たり、他の児童生徒に成りすまして回答したりすることがないように、また集計結果を児童生徒が見ることができる状態とならないようにするなど個人情報管理には十分留意してください。
- ・フォームの編集権限、回答データならびに回答が集計されたスプレッドシート、Excel ファイルの閲覧権限については、必要なユーザのみに限定してアクセス権を付与することが重要です。本来編集・閲覧権限を持たないユーザに権限付与されることがないように十分留意してください。
- ・このマニュアルにおける質問項目は例示であり、各学校が健康観察・教育相談を行うにあたり、使いやすいよう、必要に応じ質問項目・表現を加除修正するなど工夫の上活用してください。
- ・当該マニュアルで示した質問項目で児童生徒の健康観察を行うにあたり、参考として Microsoft Excel のマクロコード及び Google Apps Script を作成した※ので、活用してください。
なお、当該 Microsoft Excel のマクロコード及び Google Apps Script は毎日フォームを入力すると仮定して作成しています。
- ・Google フォーム、Microsoft Forms の回答を集計するスプレッドシート、Excel ファイルの扱えるデータ数には上限があります。生徒数や集計日数を考慮して、データ数が大量になる場合には、必要に応じて月単位、学年やクラス単位等でアンケートを分けるなどの対応を行いましょう。

※起動方法や表示されるアラートは、[10p](#)以降と[21p](#)以降を参照してください。

※各学校の環境によっては、本資料の記載通りの運用ができない場合もございます。本資料はあくまで参考としてご覧いただき、本資料に基づくアンケートの作成やマクロコード等、システム作成やエラー等に関する文部科学省並びに各事業者へのご質問についてはお控えください。なお、運用等にあたっては、各学校において連携しているICT支援員等とよく相談して行ってください。

.....

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Google フォームで Web アンケートを作成・共有することで、健康観察や教育相談をすることができます。

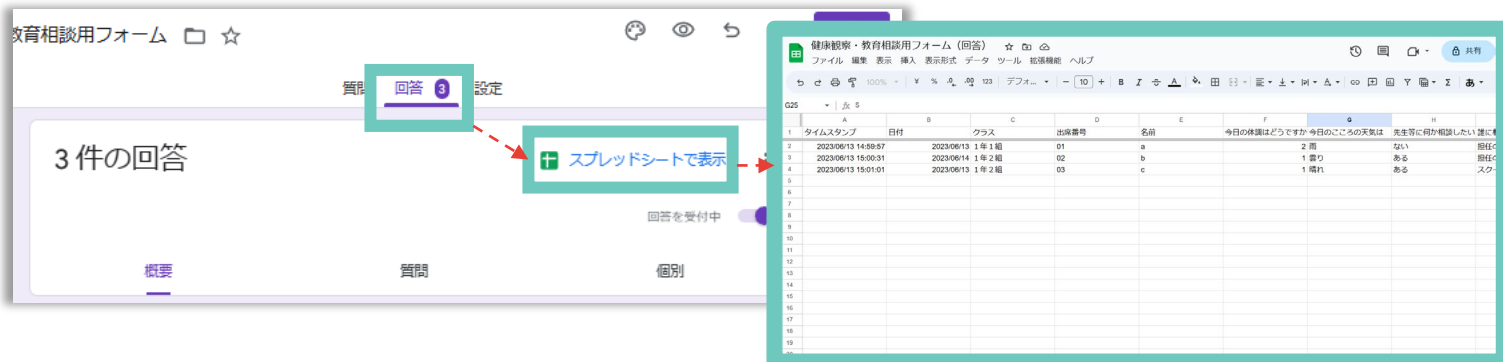
設定の流れ



インターネットで「Google ドライブ」と検索してログインしたあと、「+新規」→「Google フォーム」をクリックする



フォームを作成・共有し、回答を収集する（次頁以降参照）



収集した回答をフォーム上、または Google スプレッドシート™ で確認する（次頁以降参照）

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

[サンプル](#)

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

日付を選択してもらう

- ① タイトル … 「日付」と入力する
- ② フォームの形式 … 「日付」をクリックする
- ③ 必須チェック … チェックする

健康観察・教育相談用フォーム

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

日付 *

日付

yyyy/mm/dd

クラス *

☐ 1年1組

☒ 1年2組

☐ 2年1組

☐ 2年2組

☐ 3年1組

☐ 3年2組

出席番号 *

半角数字で記入してください。

回答を入力

名前 *

姓と名の間にスペースは不要です。

回答を入力

今日の体調はどうか *

1 2 3 4 5

悪い ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 良い

今日のこころの天気は *

日付

年月日

日付

必須

クラスを選択してもらう

クラス

ラジオボタン

☐ 1年1組

☐ 1年2組

☐ 2年1組

☐ 2年2組

☐ 3年1組

☐ 3年2組

選択肢を追加 または 「その他」を追加

必須

- ① 質問の追加 … 編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル … 「クラス」と入力する
- ③ フォームの形式 … 「ラジオボタン」をクリックする
- ※クラス数が多い場合は、「プルダウン」をクリックし作成する
- ④ 選択肢の入力 … クラスを入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

サンプル

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

出席番号を入力してもらう

- ① 質問の追加 …編集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「出席番号」と入力する
- ③ フォームの形式 …「記述式」をクリックする
- ④ 説明の入力 …「:」→「説明」をクリックし、「半角数字で記入してください」と入力する
- ⑤ 回答の検証 …「:」→「回答の検証」をクリックし、「数値」「整数」をクリックする。「回答の検証」を設定し、整数のみに入力を制限することで、出席番号の欄に誤って名前や全角数字が入力されるといったことを防ぐことができる。
- ⑥ 必須チェック … チェックする

名前を入力してもらう

- ① 質問の追加 …編集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「名前」と入力する
- ③ 説明の入力 …「:」→「説明」をクリックし、「姓と名の間にスペースは不要です。」と入力する
- ④ 回答の検証…「:」→「回答の検証」をクリックし、「正規表現」「含まない」とプルダウンで選択した後、「¥s」又は「\s」※と入力し、「姓と名の間にスペースは不要です。」と入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

※半角の円マーク「¥」と半角のバックスラッシュ「\」はパソコン内で全く同じものとして扱われるため、どちらで入力いただいても問題ありません。

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

[サンプル](#)

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

体調を入力してもらう

- ① 質問の追加 … 編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル … 「今日の体調はどうですか」と入力する
- ③ フォームの形式形式 … 「均等目盛」をクリックする
- ④ 評価の段階 … 評価の段階を「1～5」に設定する
- ⑤ 最左と最右の表示 … 「悪い」「良い」と入力する
- ⑥ 必須チェック … チェックする

心の天気を入力してもらう

- ① 質問の追加 … 編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル … 「今日の心の天気は」と入力する
- ③ フォームの形式形式 … 「ラジオボタン」をクリックする
- ④ 選択肢 … 選択肢を「晴れ」「曇り」「雨」「雷」に設定する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

[サンプル](#)

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

児童生徒に相談したいことがあるか聞く

- ① 質問の追加 …編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「先生等に何か相談したいことはありますか。」と入力する
- ③ フォームの形式 …「ラジオボタン」をクリックする
- ④ 選択肢 …「ある」「ない」と入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックする

誰に相談したいか選択してもらう

- ① 質問の追加 …編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「ある場合は、誰に相談したいですか。」と入力する
- ③ フォームの形式 …「ラジオボタン」をクリックする
- ④ 選択肢 …「担任の先生」「養護教諭」「スクールカウンセラー」「その他の教職員」と入力し、青字の「その他」を追加をクリック

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

[サンプル](#)

Google フォーム による、アンケート作成方法を説明します。

設定方法

自由記述欄を作る

- ① 質問の追加 …編集集中の質問の横に表示されるツールバーの「+」をクリックする
- ② タイトル …「自由記述欄」と入力する
- ③ フォームの形式 …「段落」をクリックする
- ④ 説明の入力 …「:」→「説明」をクリックし、「その他何か先生に伝えたいことがあれば記述してください。」と入力する

自由記述欄

段落

その他何か先生に伝えたいことがあれば記述してください。

記述式テキスト (長文回答)

必須

3年1組
3年2組

出席番号*
半角数字で記入してください。

回答を入力

名前*
姓と名の間にスペースは不要です。

回答を入力

今日の体調はどうですか

1 2 3 4 5
悪い ○ ○ ○ ○ ○ 良い

今日のこのころの天気は*

晴れ
曇り
雨
雪

先生等に何か相談したいことはありますか*

ある
ない

ある場合は、誰に相談したいですか

担任の先生
養護教諭
スクールカウンセラー
その他の教職員
その他:

自由記述欄
その他何か先生に伝えたいことがあれば記述してください。

回答を入力

送信

フォームをクリア

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム

前頁で作成したアンケートを回答者に共有する方法を説明します。

設定方法

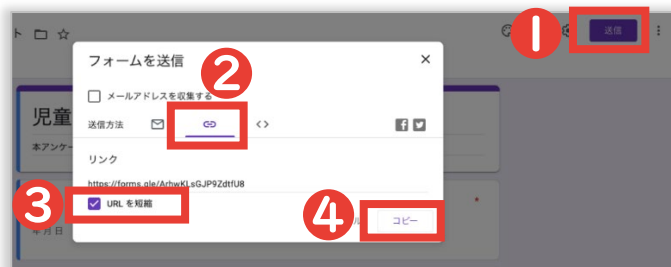


メールを受信する側のイメージ



Google フォームから直接メールで共有する方法

- ① 送信画面の表示 … 「送信」をクリックする
- ② 送信先の入力 … 作成したフォームを送信したいメールアドレスをすべて入力する
- ③ 件名の入力 … 件名を入力する
- ④ メッセージの入力 … メッセージを入力する
- ⑤ 送信 … 「送信」をクリックする



リンクをコピーして共有する方法

- ① 送信画面の表示 … 「送信」をクリックする
- ② リンクが表示 … リンクのアイコンをクリックする
- ③ URL の短縮 … URL を短くすることができる
- ④ コピー … URL をコピーすることができる



自治体が発行したアドレスにログインしなくても回答できるようにする方法

- ① 設定の表示 … 作成したフォームの「設定」をクリックする
- ② 限定の解除 … 「(組織名)と信頼できる組織のユーザーに限定する」のチェックを外す

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Google フォーム



Google スプレッドシート

収集した回答を確認する方法を説明します。

設定方法

回答を確認する場合

- ① 回答の表示 … 作成したフォームの「回答」をクリックする
- ② 概要の確認 … 入力状況などを確認できる
- ③ 個別の回答の確認 … 「個別」をクリックすると、個別の回答を確認できる
- ④ 回答の確認 … 回答をGoogle スプレッドシートで表示することができる

タイムスタンプ	日付	クラス	出席番号	授業を受けていて楽しい	授業の満足度	学校生活について
2021/02/25 8:55:03	2021/02/25	1年1組		12	数字、理科、保健体育	3 どちらかとい
2021/02/25 8:55:56	2021/02/25	2年1組		15	国語、数学	2 どちらかとい

タイムスタンプ	名前	クラス	欠席 or 遅刻	遅刻の場合、登校予定時刻 or 遅刻理由	パスワード
2023/06/13 14:59:57	2023/06/13	1年1組	01	欠席	
2023/06/13 15:00:31	2023/06/13	1年2組	02	欠席	
2023/06/13 15:01:01	2023/06/13	1年2組	03	欠席	

日付・クラス別に入力状況を確認する場合

- ① フィルタの作成 … フィルタの記号の右にある「」をクリックし、「新しいフィルタ表示を作成」をクリックする
- ② 表示データの選択 … 日付やクラスなどの表示を制限したい列の3本線の記号をクリックしたあと、表示したいデータのみチェックし、「OK」をクリックする

GAS (Google Apps Script) 起動方法について

Google フォームで作成したGoogle スプレッドシートで、Google Apps Script を起動させる方法を解説します。

(1).スプレッドシートを表示する。

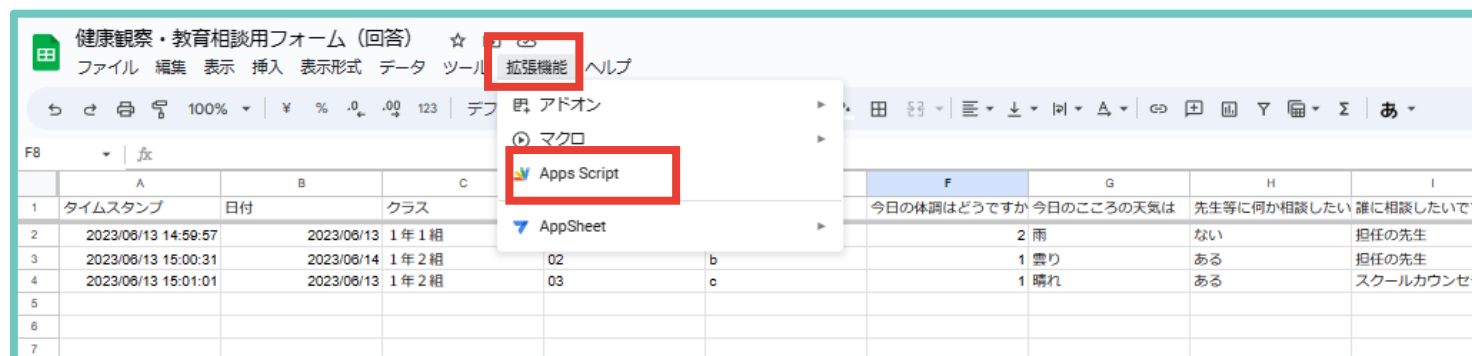
[Google フォームで作成したスプレッドシートを開く]



(2) Google Apps Script を入力する場所を表示する。

[ツールバーの拡張機能]⇒[App Script]

※ Google スプレッドシートのバージョンが古い場合は、「拡張機能の項目が存在しない
ため、ツールバーの「ツール」⇒「スクリプトエディタ」を選択すると、App Script を開く
ことができます。

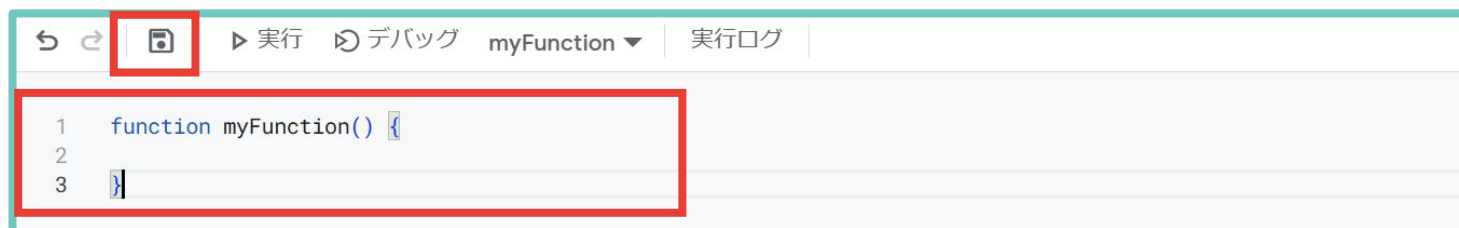


GAS (Google Apps Script) 起動方法について

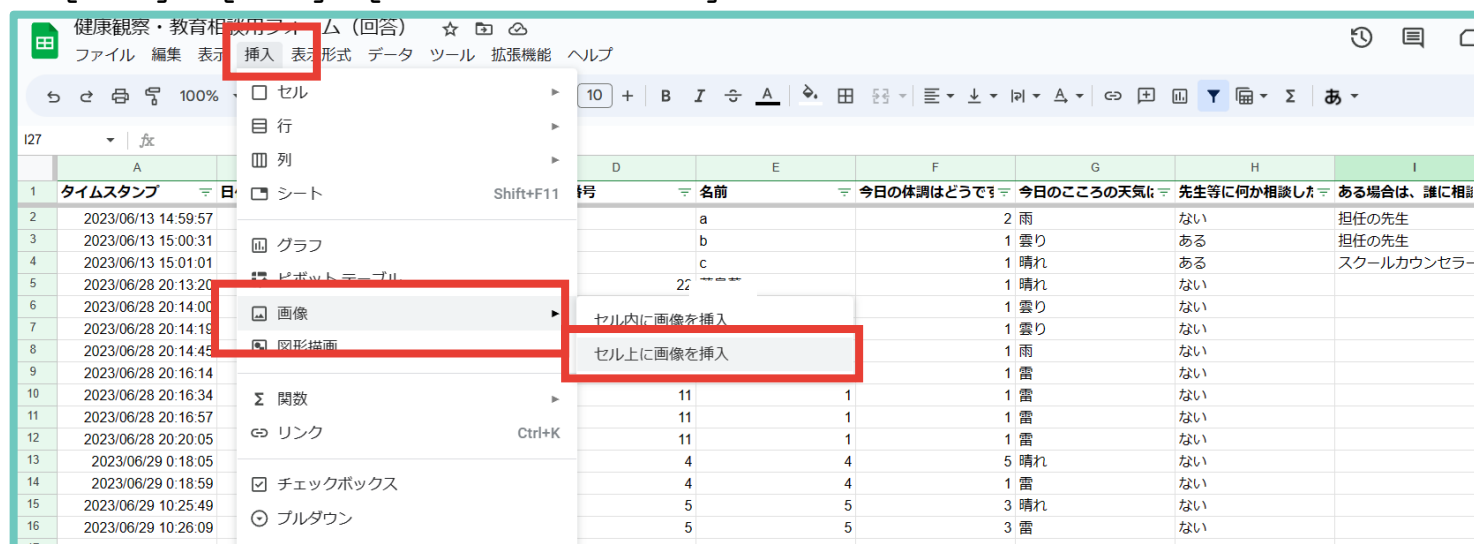
Google フォームで作成したGoogle スプレッドシートで、Google Apps Script を起動させる方法を解説します。

(4) Google Apps Script を入力し、実行する

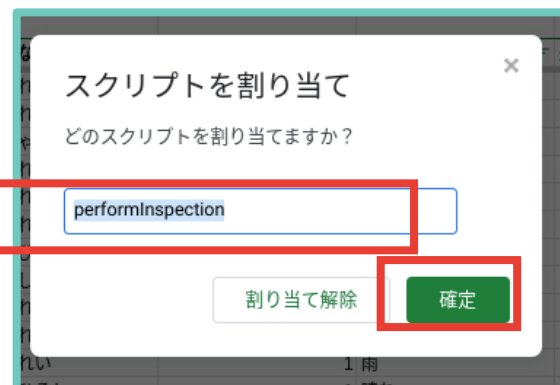
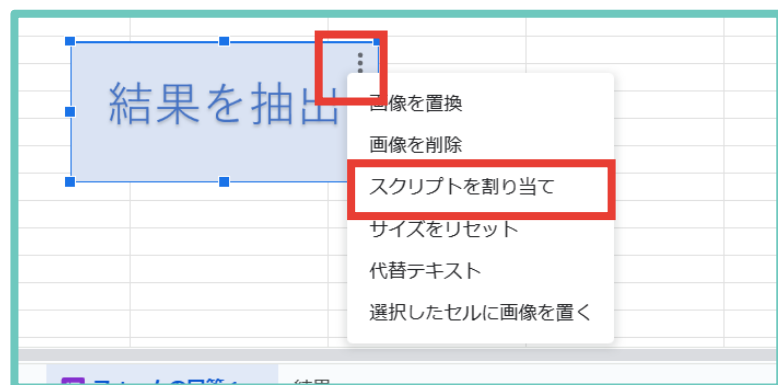
[元々入力されている文字列を削除] ⇒ [1行目に別添のGASを貼り付ける] ⇒ [保存]



[挿入] ⇒ [画像] ⇒ [セル上に画像を挿入] (適当な画像を選択して、挿入してください)



[挿入した画像の上で右クリック] ⇒ [「:」をクリック] ⇒ [スクリプトを割り当て]
⇒ [「performInspection」と入力] ⇒ [確定] ⇒ [画像をクリックする]



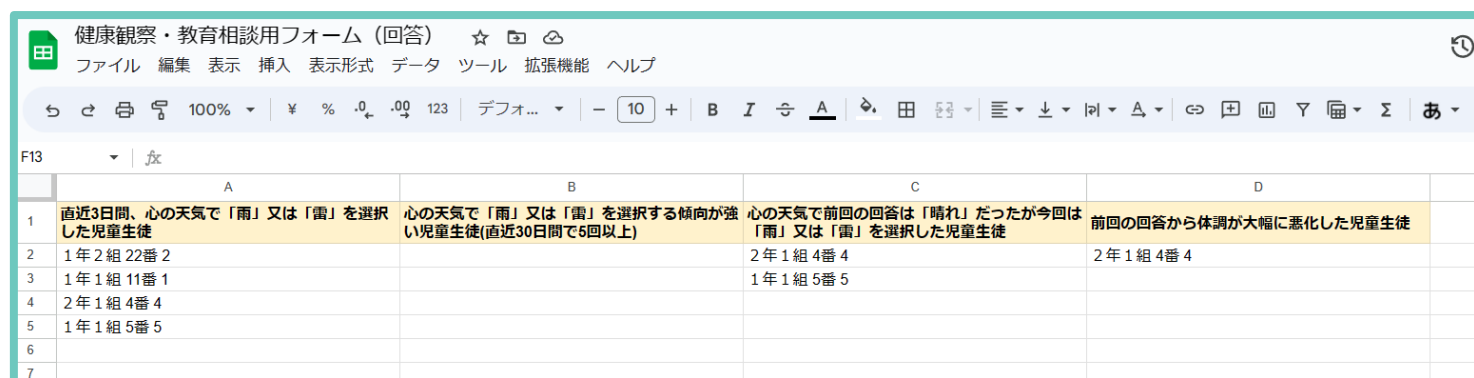
GAS (Google Apps Script) 起動方法について

Google フォームで作成したGoogle スプレッドシートで、Google Apps Script を起動させる方法を解説します。

(5) 結果を確認する

Google Apps Script が正常に起動されていれば、「結果」というシートが新たに作られ、

- ・直近3日間連続、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
 - ・心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒(直近30日間で5回以上)
 - ・心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
 - ・前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒(良い⇒悪い)
- が抽出して表示されます。



	A	B	C	D
1	直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒(直近30日間で5回以上)	心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒
2	1年2組 22番 2		2年1組 4番 4	2年1組 4番 4
3	1年1組 11番 1		1年1組 5番 5	
4	2年1組 4番 4			
5	1年1組 5番 5			
6				
7				

(6) 結果について

- ・あくまで声掛けの参考にするために使用してください。
- ・同一の日付に複数のデータを入力した場合、結果がうまく反映されない場合があります。

留意事項

- ・スプレッドシートを編集すると Google Apps Script がうまく起動しないため、編集はしないでください。

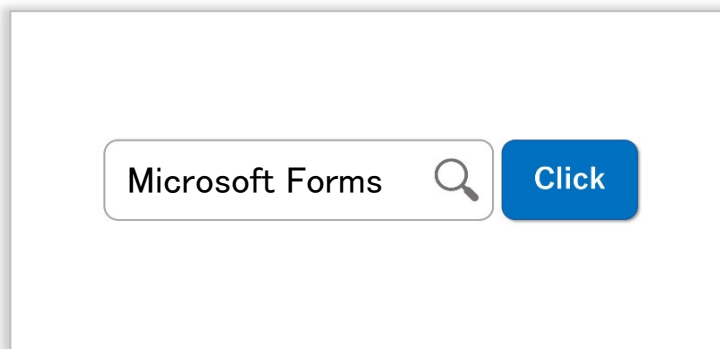
(行・列の追加・削除やデータの書き換え等)

- ・質問の追加や削除を行った場合、と Google Apps Script を書き換える必要があります。適宜ご対応いただき、コードの書き換えに関するお問い合わせはご遠慮ください。
- ・本資料1pの留意事項にもよく目を通してご活用ください。

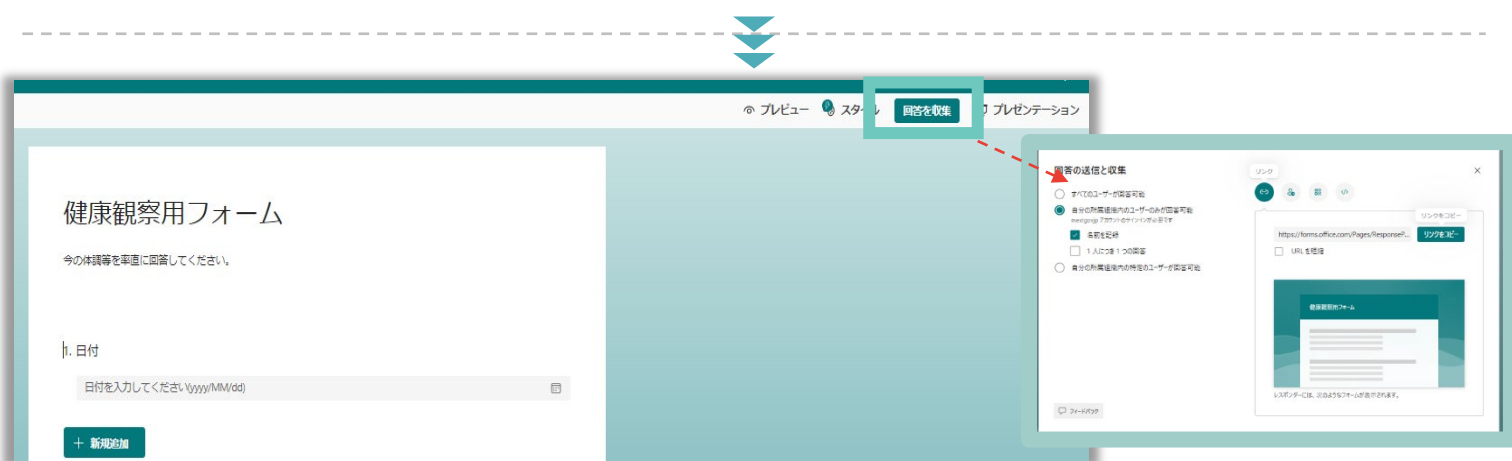
児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms でWebアンケートを作成・共有することで、健康観察や教育相談をすることができます。

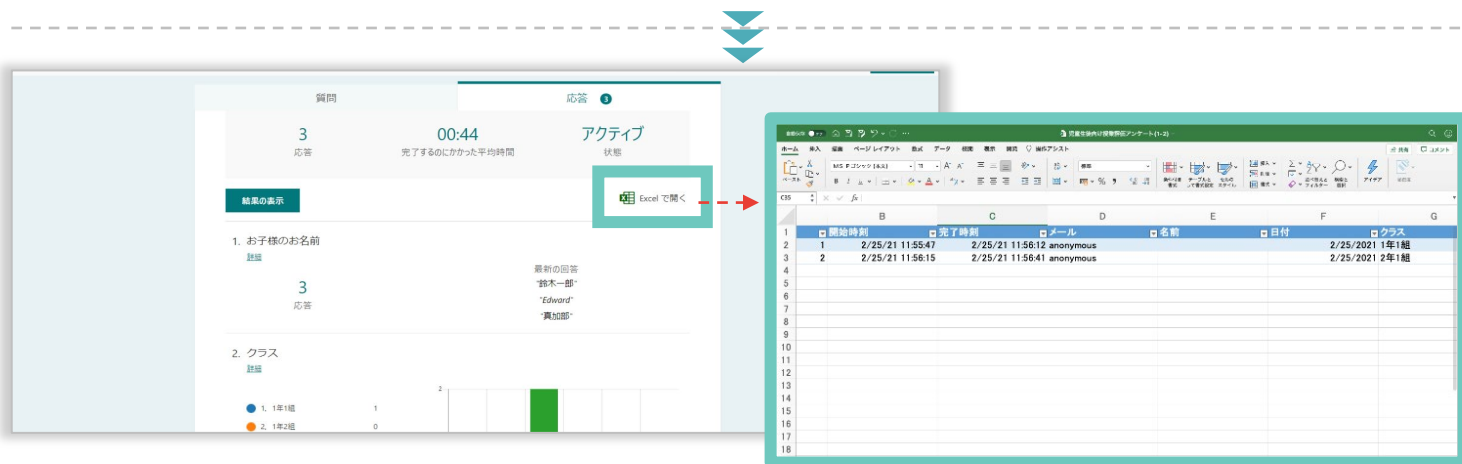
設定の流れ



インターネットで「Microsoft Forms」と検索してログインしたあと、「+新しいフォーム」をクリックする



フォームを作成・共有し、回答を収集する(次頁以降参照)



収集した回答をフォーム上、または Microsoft Excel で確認する
(次頁以降参照)



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

1. 日付を選択してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「日付」をクリックする
- ② タイトル … 「日付」と入力する
- ③ 必須チェック … チェックする

健康観察用フォーム

今の体調等を正直に回答してください。

1. 日付 *

日付を入力してください(yyyy/MM/dd)

2. クラス *

- ☐ 1年1組
- ☐ 1年2組
- ☐ 2年1組
- ☐ 2年2組
- ☐ 3年1組
- ☐ 3年2組

3. 出席番号 *

半角数字で記入してください。

例は数値にする必要があります

4. 名前 *

姓と名の間にスペースは不要です。

回答を入力してください

5. 今日の体調はどうですか *

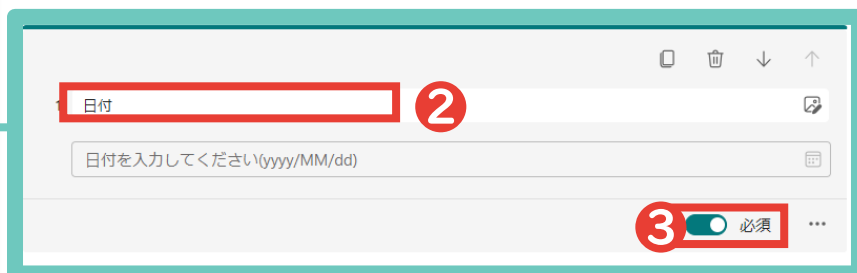
悪い ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 良い

6. 今日のここらの天気は *

直感的に回答してください。

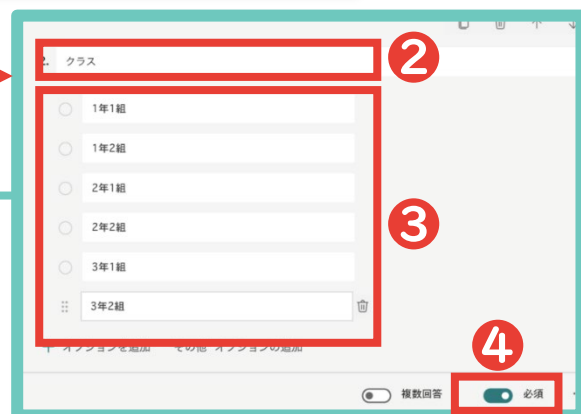
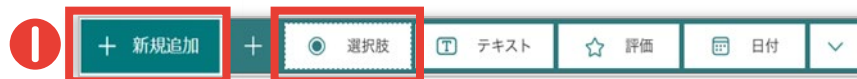
- ☐ 晴れ
- ☐ 曇り
- ☐ 雨
- ☐ 雪

7. 先生に何か相談したいことはありますか。 *



2. クラスを選択してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「クラス」と入力する
- ③ 選択肢の入力 … クラスを入力する
- ④ 必須チェック … チェックする



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

3. 出席番号を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「テキスト」をクリックする
- ② タイトル … 「出席番号」と入力する
- ③ 説明の入力 … 「…」→「サブタイトル」をクリックし、「半角数字で記入してください。」と入力する
- ④ 回答の制限 … 「…」→「制限」をクリックし、「数値」をクリックする
- ⑤ 必須チェック … チェックする

健康観察用フォーム

今の体調等を正直に回答してください。

1. 日付 *

日付を入力してください(yyyy/MM/dd)

2. クラス *

- ☐ 1年1組
☐ 1年2組
☐ 2年1組
☐ 2年2組
☐ 3年1組
☐ 3年2組

3. 出席番号 *

半角数字で記入してください。

値は数値にする必要があります

4. 名前 *

姓と名の間にスペースは不要です。

回答を入力してください

5. 今日の体調はどうですか *

悪い ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 良い

6. 今日のここらの天気は *

直感的に回答してください。

- ☐ 晴れ
☐ 曇り
☐ 雨
☐ 雪

7. 先生に何か相談したいことはありますか。 *

4. 名前を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「テキスト」をクリックする
- ② タイトル … 「名前」と入力する
- ③ 説明の入力 … 「…」→「サブタイトル」をクリックし、「姓と名の間にスペースは不要です。」と入力する
- ④ 必須チェック … チェックする

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

5.体調を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「評価」をクリックする
- ② タイトル … 「今日の体調はどうですか」と入力する
- ③ 評価の段階 … 評価の段階を「5」に設定する
- ④ シンボルの選択 … 「星」と「数値」のどちらかをクリックする
- ⑤ 最左と最右の表示 … 「悪い」「良い」と入力する
- ⑥ 必須チェック … チェックする



6.心の天気を入力してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「今日の心の天気は」と入力する
- ③ 選択肢 … 選択肢を「晴れ」「曇り」「雨」「雷」に設定する
- ④ 必須チェック … チェックする



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

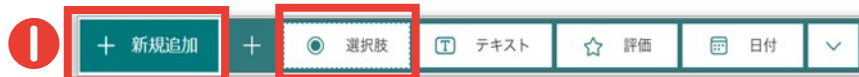
Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

7. 児童生徒に相談したいことがあるか聞く

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「先生等に何か相談したいことはありますか」と入力する
- ③ 選択肢 … 「ある」「ない」と入力する
- ④ 必須チェック … チェックする



8. 誰に相談をしたいか選択してもらう

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「選択肢」をクリックする
- ② タイトル … 「誰に相談したいですか」と入力する
- ③ 選択肢 … 選択肢を「担任の先生」「養護教諭」「スクールカウンセラー」「その他の教職員」と入力する
- ④ 説明の入力 … 「…」→「サブタイトル」をクリックし、「相談がないときは回答不要です。」と入力する
- ⑤ 必須チェック … チェックが残っている場合は外す



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う

Microsoft Forms

Microsoft Forms による、アンケート作成方法を紹介します。

設定方法

9.自由記述欄を作る

- ① フォームの形式 … 「+新規追加」→「テキスト」をクリックする
- ② タイトル … 「自由記述欄」と入力する
- ③ 説明の入力 … 「…」→「サブタイトル」をクリックし、「その他何か先生に伝えたいことがあれば記入してください。」と入力する
- ④ 回答の形式…長い回答をクリックする



児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Microsoft Forms

前頁で作成したアンケートを回答者に共有する方法を説明します。

設定方法

Microsoft Forms から直接メールで共有する



- 1 共有画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 メール作成 … 人型のアイコンをクリックする
- 3 宛先の入力 … フォームを送信したいメールアドレスをすべて入力
- 4 送信 … メールを送信する



リンクをコピーして共有する方法

- 1 共有画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 リンクの表示 … リンクのアイコンをクリックする
- 3 コピー … 「コピー」をクリックしたあと、適宜ペーストして活用する



QRコードをダウンロードして共有する方法

- 1 送信画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 QRコードの表示 … リンクのアイコンをクリックする
- 3 ダウンロード … 「ダウンロード」をクリックする



※自治体が発行したアドレスにログインしなくても回答できるようにする方法

- 1 送信画面の表示 … 「回答を収集」をクリックする
- 2 回答可能者の範囲 … 「○」→「すべてのユーザーが返信可能」を選択する

児童生徒に健康観察・教育相談のアンケートを行う



Microsoft Forms



Microsoft Excel

収集した回答を確認する方法を説明します。

設定方法

1. 「応答」の表示
2. 91 応答
3. 結果の表示
4. Excelで開く

回答を確認する場合

- ① 「応答」の表示 … 作成したフォームの「応答」をクリックする
- ② 概要の確認 … 入力数、入力状況などの状況が確認できる
- ③ 個別の回答の確認 … 「結果の表示」をクリックすると、個別の回答を確認できる
- ④ 回答の確認 … 回答を Microsoft Excel で確認できる

ID	開始時刻	完了時刻	メール	名前	クラス	欠席or遅刻	遅刻の場合、登録予定	欠席or遅刻理由
1	2/21/21 12:19:07	2/21/21 12:19:26	anonymous	テスト 太郎	1年1組	欠席		出席記録のため
2	2/21/21 12:19:44	2/21/21 12:20:45	anonymous	テスト 次郎	2年1組	遅刻	10時	
3	2/21/21 12:20:49	2/21/21 12:21:04	anonymous	テスト 三郎	3年1組	欠席		通病

日付・クラス別に入力状況を確認する場合

- ① フィルタの表示 … 日付やクラスなどの表示を制限したい列の「▼」をクリックしたあと、表示したいデータのみをチェックする

ID	開始時刻	完了時刻	メール	名前	クラス	欠席or遅刻	遅刻の場合、登録予定	欠席or遅刻理由
1	2/21/21 12:19:07	2/21/21 12:19:26	anonymous	テスト 太郎	1年1組	欠席		出席記録のため

フィルタメニュー (クラス):

- (すべて選択)
- ☒ 1年1組
- ☐ 2年1組
- ☐ 3年1組

マクロ起動方法について

Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

(1) Excelファイルをマクロが使えるファイル形式に拡張子を変更する。

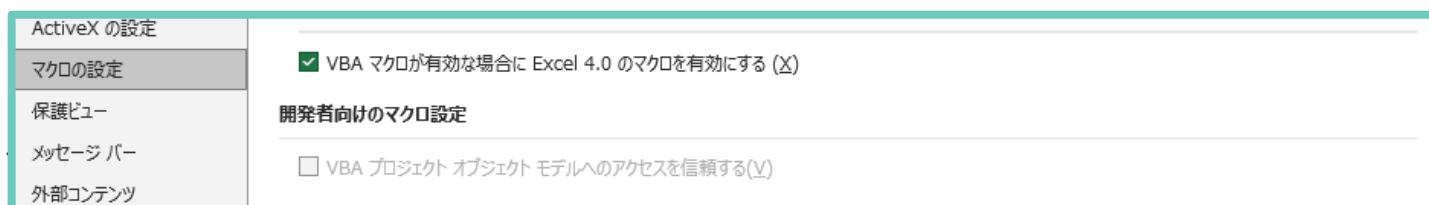
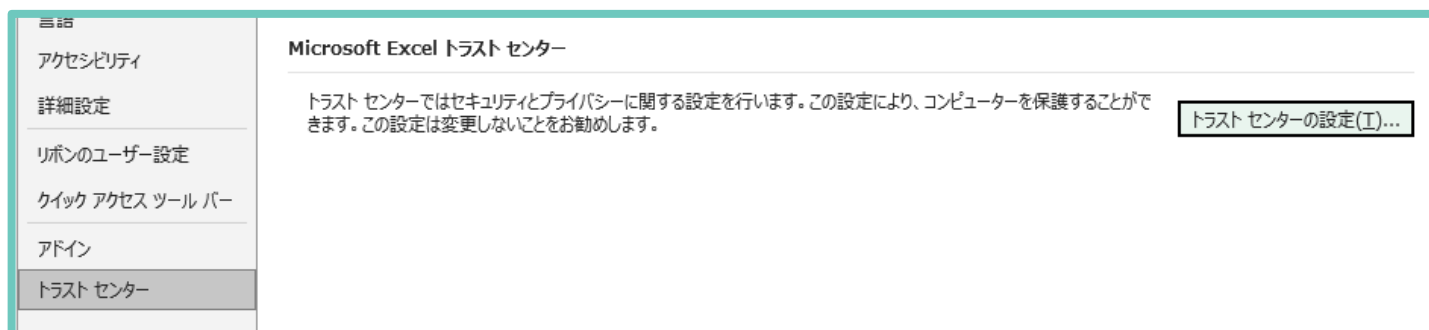
[Microsoft Formsで作成したExcelファイルを開く]⇒[ファイル]⇒[エクスポート]
⇒[ファイルの種類の変更]⇒[マクロ有効ブック (*.xlsm)]を選択⇒[名前を付けて保存]



(2) Excelマクロを使用できるようにする。

[ファイル]⇒[オプション]⇒[セキュリティセンター]あるいは[トラストセンター] ⇒[マクロの設定]

※Excelのバージョン等によって設定方法は異なります。

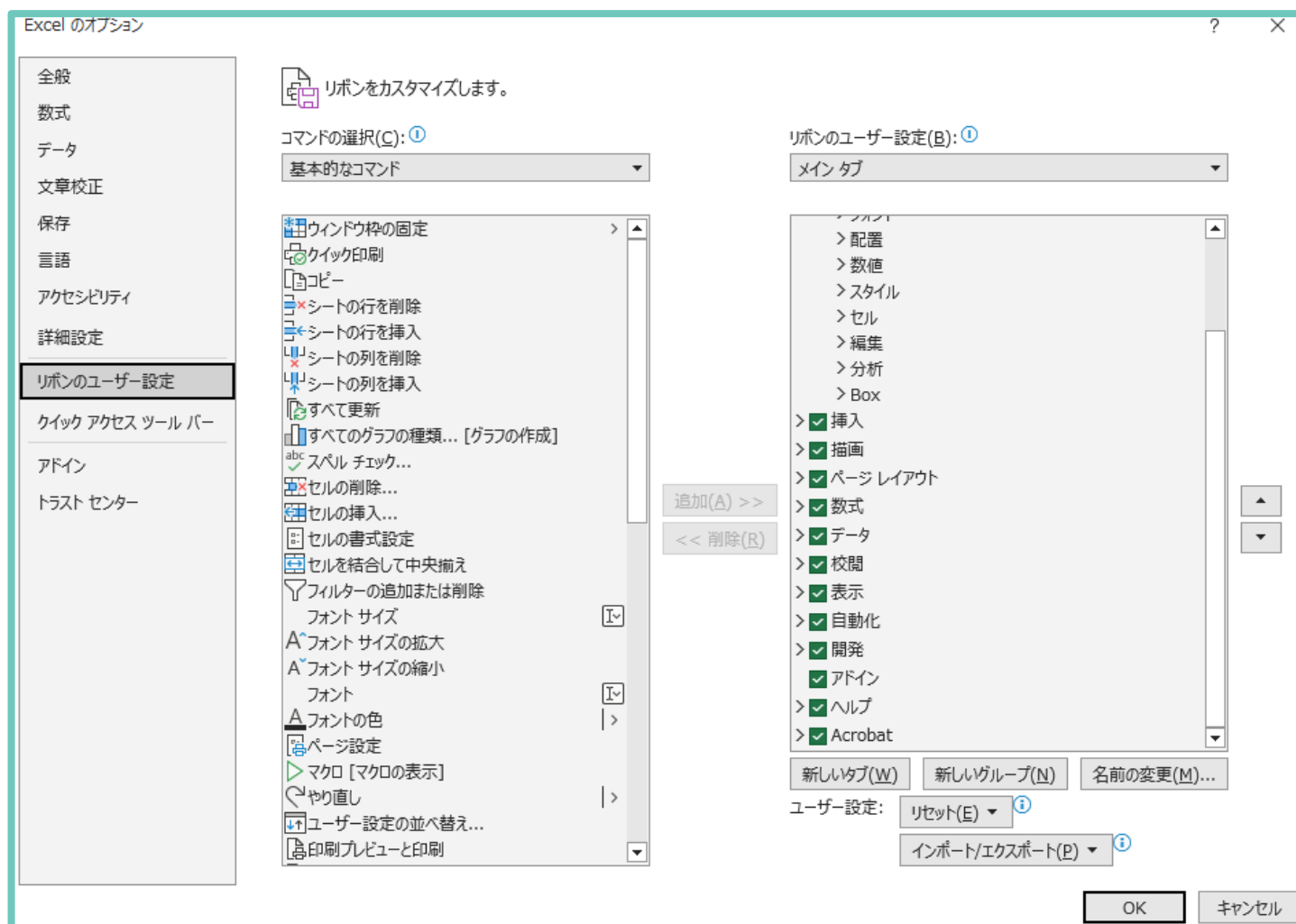


マクロ起動方法について

Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

(3) 開発タブを表示させる。

[ファイル]⇒[オプション]⇒[リボンのユーザー設定]⇒[開発にチェック]⇒[OK]

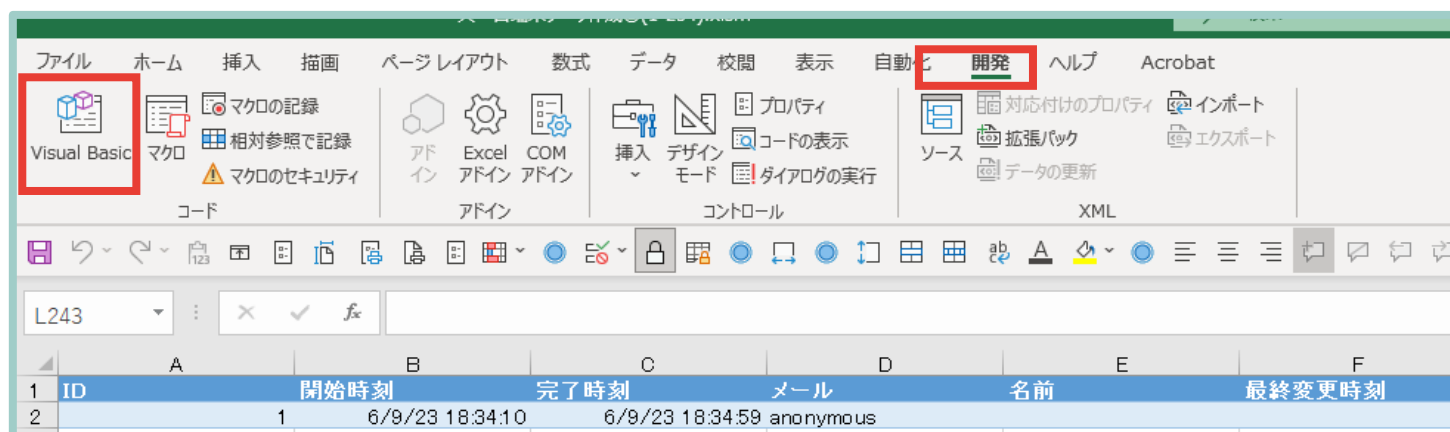


マクロ起動方法について

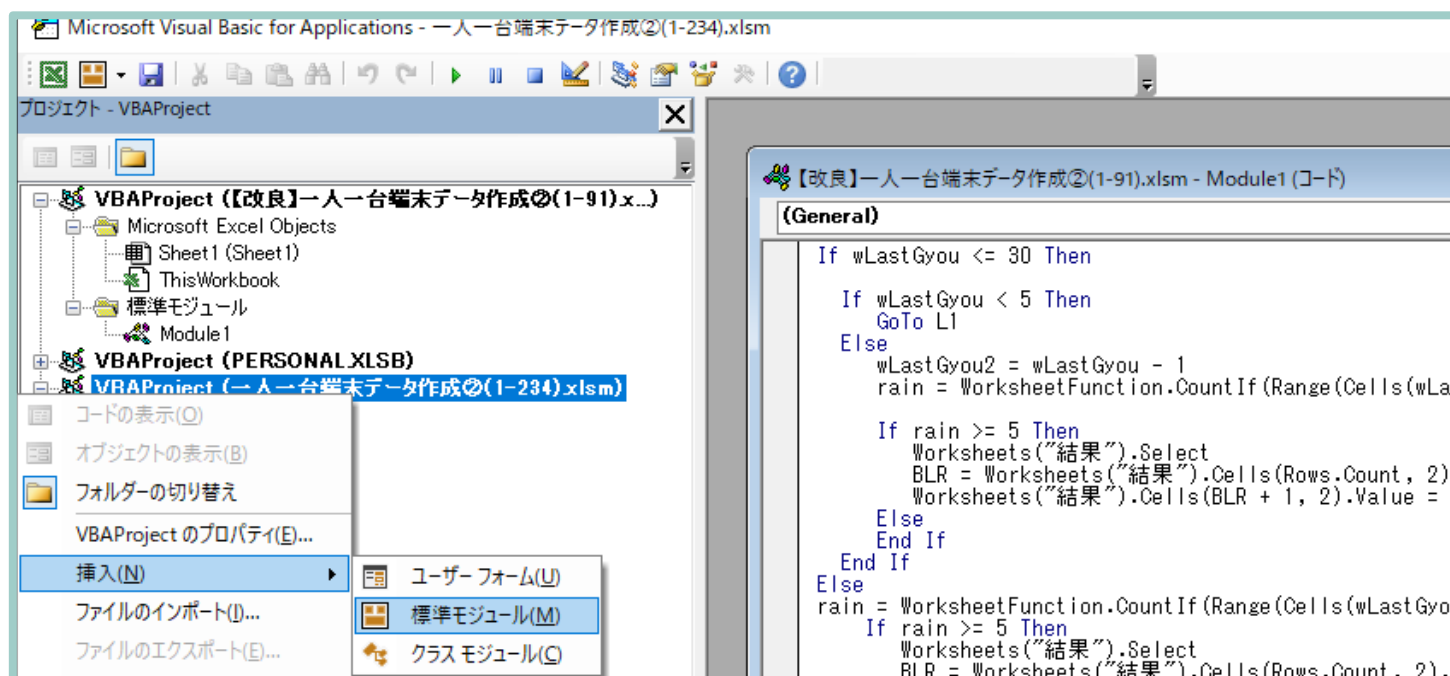
Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

(4) マクロを入力する

[開発]⇒[Visual Basic]



[使用しているExcelファイル名を右クリック]⇒[挿入]⇒[標準モジュール]

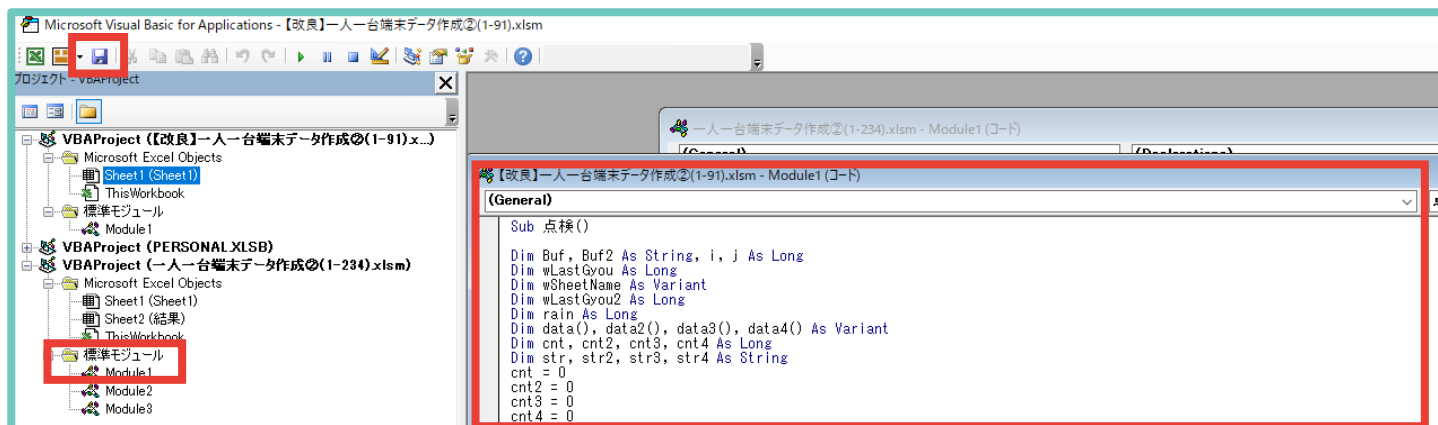


マクロ起動方法について

Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

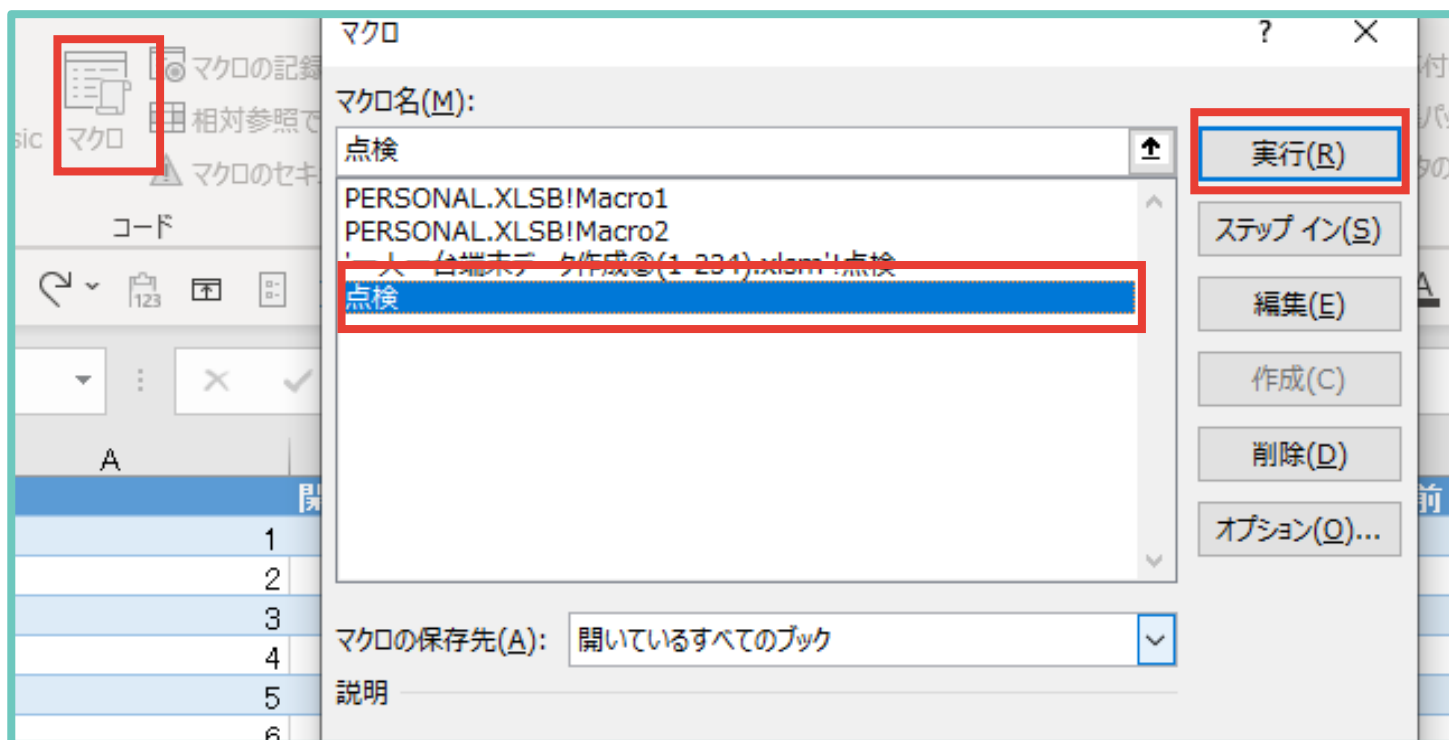
(4) マクロを入力する

[Module 1をダブルクリック]⇒[表示されるウインドウに別添のマクロを貼り付け]⇒[保存]



(5) マクロを起動する

[開発]⇒[マクロ]⇒[点検]⇒[実行]



マクロ起動方法について

Microsoft Formsで作成した回答Excelで、マクロを起動させる方法を解説します。

(6) 結果を確認する

マクロが正常に起動されていれば、「結果」というシートが新たに作られ、

- ・直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
- ・心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒（直近30日間で5回以上）
- ・心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
- ・前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒（良い⇒悪い）

が抽出して表示されます。

直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒（直近30日間で5回以上）	心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒	前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒
1年3組出席番号3	1年1組出席番号1	1年1組出席番号1	1年3組出席番号3
	1年2組出席番号2		

(7) 結果について

- ・あくまで声掛けの参考にするために使用してください
- ・同一の日付に複数のデータを入力した場合、結果がうまく反映されない場合があります。

留意事項

- ・回答Excelを編集するとマクロがうまく起動しないため、編集はしないでください。（行・列の追加・削除やデータの書き換え等）
- ・質問の追加や削除を行った場合、マクロコードを書き換える必要があります。
適宜ご対応いただき、コードの書き換えに関するお問い合わせはご遠慮ください。
- ・本資料1pの留意事項にもよく目を通してご活用ください。

アンケートの設定の工夫

必須回答を使い分ける

その質問への回答を「必須」にすることで、必ず答えてもらいたい質問への回答漏れを防ぐことができます。

質問形式を使い分ける

Google フォームも Microsoft Forms も以下のような質問形式を設定できます。自由記述では、表記揺れ（例、1組と一組）が発生するため、集計方法にあわせて適切な質問形式を選択してください。

種類	Google™	Microsoft	ケース
単一回答	ラジオボタン プルダウン	選択肢	選択肢より選べる回答を 1 つに限定したい場合 ※選択肢に合わせて、次のページで飛ばす先を変更することもできます。
複数回答	チェックボックス	選択肢 ※複数回答 ON	複数の選択肢を選択できるようにしたい場合
テキスト	記述式/段落	テキスト	自由記述で回答させたい場合 ※後述の「回答の検証」もあわせてご覧ください。
ファイル	ファイルの アップロード(※)	ファイルの アップロード	画像ファイルなどを提出させたい場合 ※ Google アカウントでログインする必要があります。
○段階評価	均等目盛	評価	5 段階など設定したなかから評価させたい場合
日付や時刻	日付/時刻	日付	カレンダーなどから日付を選択させたい場合
表形式	グリッド	リッカート	表形式で回答させたい場合

「回答の検証」を活用する

例えば、あとから表計算シートで数字として集計したい質問は「整数のみ」入力できるようにするといった設定ができます。このように設定することで、自由記述の集計もある程度負担を減らすことができます。

▲Google

▲Microsoft

お問い合わせ先

文部科学省 初等中等教育局

児童生徒課 03-5253-4111

※アンケートの作成やマクロコード等、システム作成やエラー等に関するご質問についてはお控えください。

※ Microsoft Teams、Microsoft Forms、Microsoft ExcelはMicrosoft Corporation の商標です。

※ Google、Google Workspace for Education、Google Classroom、Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google スライド、Google フォーム、Google ドライブ、Google サイト、Google カレンダー、Jamboard、および Google Chat はGoogle LLC の商標です。

※ 心の天気は、株式会社EDUCOMの商標です。

別添資料7 付属資料 Excel のマクロコード

```
Sub 点検()  
Dim Buf, Buf2 As String, i, j As Long  
Dim wLastGyou As Long  
Dim wSheetName As Variant  
Dim wLastGyou2 As Long  
Dim rain As Long  
Dim data(), data2(), data3(), data4() As Variant  
Dim cnt, cnt2, cnt3, cnt4 As Long  
Dim str, str2, str3, str4 As String  
cnt = 0  
cnt2 = 0  
cnt3 = 0  
cnt4 = 0  
Dim ALR, BLR, CLR, DLR, MLR As Long  
Worksheets.Add after:=Worksheets(Worksheets.Count)  
ActiveSheet.Name = "隔離"  
Worksheets("Sheet1").Select  
Worksheets("Sheet1").Range("I:I").AdvancedFilter      Action:=xlFilterInPlace,  
Unique:=True  
Worksheets("Sheet1").Range("I:I").CurrentRegion.Copy  Worksheets("  隔  離  
)".Range("A:I")  
If Worksheets("Sheet1").FilterMode = True Then  
    Worksheets("Sheet1").ShowAllData  
End If  
Worksheets("Sheet1").Select  
Worksheets("Sheet1").Range("H:H").AdvancedFilter      Action:=xlFilterInPlace,  
Unique:=True  
Worksheets("Sheet1").Columns("A:G").Hidden = True  
Worksheets("Sheet1").Columns("I:N").Hidden = True  
Worksheets("Sheet1").Range("H:I").CurrentRegion.Copy  Worksheets("  隔  離  
)".Range("O:I")  
Worksheets("Sheet1").Columns("A:G").Hidden = False  
Worksheets("Sheet1").Columns("I:N").Hidden = False  
If Worksheets("Sheet1").FilterMode = True Then  
    Worksheets("Sheet1").ShowAllData  
End If
```

別添資料7 付属資料 Excel のマクロコード

```
Worksheets.Add after:=Worksheets(Worksheets.Count)
ActiveSheet.Name = "結果"
With Worksheets("結果")
.Range("A1").Value = "直近3日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒"
.Range("B1").Value = "心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒（直近30  
日間で5回以上）"
.Range("C1").Value = "心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選  
択した児童生徒"
.Range("D1").Value = "前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒"
.Columns("A:D").WrapText = True
.Range("A:D").ColumnWidth = 42
.Range("A:D").RowHeight = 34.2
.Range("A:D").VerticalAlignment = xlCenter
End With
For j = 2 To Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 15).End(xlUp).Row
    For i = 2 To Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 9).End(xlUp).Row
        Buf = Worksheets("隔離").Cells(i, 9).Value
        Buf2 = Worksheets("隔離").Cells(j, 15).Value
        With Worksheets("Sheet1").Range("A1").CurrentRegion
            .AutoFilter Field:=9, Criteria1:=Buf
            .AutoFilter Field:=8, Criteria1:=Buf2
        End With
        Worksheets("Sheet1").Select
        If WorksheetFunction.Subtotal(3, Worksheets("Sheet1").Range("A:A")) > 1 Then
            Worksheets("Sheet1").Range("A1").CurrentRegion.Offset(1,
0).Resize(Worksheets("Sheet1").Range("A1").CurrentRegion.Rows.Count -
1).Copy Worksheets("隔離").Range("P1")
        Else
            GoTo L6
        End If
        Worksheets("隔離").Select
        wLastGyou = Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Row
        Worksheets("隔離").Range("P1:AC" & wLastGyou).Sort _
        Key1:=Range("V1"), _
        Order1:=xlAscending, _
        Header:=xlNo
```

別添資料7 付属資料 Excel のマクロコード

```
If Worksheets(" 隔 離 ").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Value = " 雨 " Or
Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Value = "雷" Then
    If wLastGyou > 2 Then
        If Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value = "
晴れ" Then
            Worksheets("結果").Select
            CLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 3).End(xlUp).Row
            Worksheets("結果").Cells(CLR + 1, 3).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
            ElseIf Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value
= "雨" Or Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value
= "雷" _
                And Worksheets(" 隔 離 ").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-2,
0).Value = "雨" Or Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 27).End(xlUp).Offset(-2,
0).Value = "雷" Then
                    Worksheets("結果").Select
                    ALR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 1).End(xlUp).Row
                    Worksheets("結果").Cells(ALR + 1, 1).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
                Else
                    End If
                Else
                    End If
            Else
                End If
        Worksheets("隔離").Select
        If wLastGyou <= 30 Then

            If wLastGyou < 5 Then
                GoTo LI
            Else
                wLastGyou2 = wLastGyou - 1
                rain = WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27),
Cells(wLastGyou - wLastGyou2, 27)), " 雨 ") +
WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27), Cells(wLastGyou -
wLastGyou2, 27)), "雷")

                If rain >= 5 Then
```

別添資料7 付属資料 Excel のマクロコード

```
Worksheets("結果").Select
BLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 2).End(xlUp).Row
Worksheets("結果").Cells(BLR + 1, 2).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
Else
End If
End If
Else
rain = WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27), Cells(wLastGyou - 30, 27)), "雨") + WorksheetFunction.CountIf(Range(Cells(wLastGyou, 27), Cells(wLastGyou - 30, 27)), "雷")
If rain >= 5 Then
Worksheets("結果").Select
BLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 2).End(xlUp).Row
Worksheets("結果").Cells(BLR + 1, 2).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
Else
End If
End If
L1:
If Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 26).End(xlUp).Row >= 2 Then
If Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 26).End(xlUp).Offset(-1, 0).Value - Worksheets("隔離").Cells(Rows.Count, 26).End(xlUp).Value = 4 Then
Worksheets("結果").Select
DLR = Worksheets("結果").Cells(Rows.Count, 4).End(xlUp).Row
Worksheets("結果").Cells(DLR + 1, 4).Value = Buf2 & ":" & "出席番号" & Buf
Else
End If
Else
End If
L6:
Worksheets("Sheet1").Range("A1").AutoFilter
Worksheets("隔離").Columns("P:AC").Clear
Next i
Next j
Application.DisplayAlerts = False
Worksheets("隔離").Delete
Application.DisplayAlerts = True
```


別添資料7 付属資料 Excel のマクロコード

```
Worksheets("結果").Select  
MXR = WorksheetFunction.Max(ALR, BLR, CLR, DLR)  
Worksheets("結果").Range(Cells(1, 1), Cells(MXR + 1, 4)).Borders.LineStyle =  
xlContinuous  
End Sub
```

別添資料7 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
const INPUT_HARE = "晴れ";
const INPUT_AME = "雨";
const INPUT_KAMINARI = "雷";
const FORM_SHEETNAME = "フォームの回答 1";
const RESULT_SHEETNAME = "結果";

function performInspection() {
  try {
    var spreadsheet = SpreadsheetApp.getActiveSpreadsheet();
    var resultSheet = spreadsheet.getSheetByName(RESULT_SHEETNAME);

    if (resultSheet === null) {
      resultSheet = spreadsheet.insertSheet(RESULT_SHEETNAME);
    }

    var sheet1 = spreadsheet.getSheetByName(FORM_SHEETNAME);
    var filterMode = sheet1.getFilter() !== null;

    if (!filterMode) {
      sheet1.getRange("A1:K").getDataRegion().createFilter();
    }

    resultSheet.clear();
    setResultsHeader(resultSheet);
    var dataRange = sheet1.getRange(4, 1, sheet1.getLastRow() - 1,
sheet1.getLastColumn());
    var dataValues = dataRange.getValues();
    var startDate = new Date();

    // 1. 直近 3 回「雨」または「雷」が連続で選択された回答をフィルタリング
    var filteredData = filterRecentConsecutiveResponses(dataValues);
    writeFilteredData(resultSheet, filteredData, 1);

    // 2. 直近 30 日間の範囲内かつ「雨」または「雷」が 5 回以上選択された回答をフィルタリング
    var filtered30Data = filterRecentCountResponses(dataValues, startDate);
    writeFilteredData(resultSheet, filtered30Data, 2);
```

別添資料7 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
// 3. 前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒
var filteredHareData = filterPreviousHareResponses(dataValues);
writeFilteredData(resultSheet, filteredHareData, 3);

// 4. 前回体調がよかったのに悪くなってしまった子供の抽出
var filteredCompData = filterDeterioratedResponses(dataValues);
writeFilteredData(resultSheet, filteredCompData, 4);

} catch (e) {
  Logger.log("エラーが発生しました: " + e.toString());
}
}

function setResultsHeader(sheet) {
  var headerValues = [
    ["直近 3 日間、心の天気で「雨」又は「雷」を選択した児童生徒",
    "心の天気で「雨」又は「雷」を選択する傾向が強い児童生徒(直近 30 日間で 5 回以上)",
    "心の天気で前回の回答は「晴れ」だったが今回は「雨」又は「雷」を選択した児童生徒",
    "前回の回答から体調が大幅に悪化した児童生徒"]
  ];
  sheet.getRange(1, 1, 1, 4).setValues(headerValues);
  sheet.getRange("A:D").setWrap(true);
  sheet.setColumnWidths(1, 4, 300);
  sheet.setRowHeight(1, 34.2);
  sheet.getRange("A:D").setVerticalAlignment("middle");
  sheet.getRange("A1:D1").setFontWeight("bold");
  sheet.getRange("A1:D1").setBackground("#fff2cc");
}

function filterRecentConsecutiveResponses(dataValues) {
  var studentData = {};

  // 生徒データの作成
  dataValues.forEach(function(row) {
    var classname = row[2];
```

別添資料7 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var shusseki = row[3];
var studentId = classname + '-' + shusseki; // 生徒の ID
var studentName = row[4];
var timestamp = row[1]; // 日付
var tenkiResponse = row[6]; // 回答がある列のインデックス

if (!studentData.hasOwnProperty(studentId)) {
  studentData[studentId] = [];
}

studentData[studentId].push({
  timestamp: timestamp,
  response: tenkiResponse,
  studentName: studentName
});

var filteredData = [];
for (var studentId in studentData) {
  var submissions = studentData[studentId];

  var rainOrThunderCount = 0;
  var validSubmissions = [];

  // 日付の新しい順にソート
  submissions.sort(function(a, b) {
    return new Date(b.timestamp) - new Date(a.timestamp);
  });
  //for (var i = submissions.length - 1; i >= 0 ; i--) {
  for (var i = 0; i < submissions.length; i++) {
    var submission = submissions[i];

    if (submission.response === INPUT_AME || submission.response ===
INPUT_KAMINARI) {
      rainOrThunderCount++;
      validSubmissions.push(submission);
    }
  }
}
```

別添資料7 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
        if (rainOrThunderCount === 3) {
            filteredData.push([studentId, submission.studentName]);
            break;
        }
    }
}
}
return filteredData;
}

function filterRecentCountResponses(dataValues, startDate) {
    startDate.setDate(startDate.getDate() - 29);
    var filteredData = dataValues.filter(function(row) {
        var timestamp = row[1];
        var tenkiResponse = row[6];
        var classname = row[2];
        var shusseki = row[3];

        var count = dataValues.filter(function(row) {
            return row[2] === classname && row[3] === shusseki;
        }).length;

        return timestamp >= startDate &&
            (tenkiResponse === INPUT_AME || tenkiResponse === INPUT_KAMINARI)
            && count >= 5;
    }).map(function(row) {
        return [row[2], row[3], row[4]];
    });
    return filteredData;
}

function filterPreviousHareResponses(dataValues) {
    var countByPerson = {};
    var filteredData = dataValues.filter(function(row) {
        var tenkiResponse = row[6];
        var classname = row[2];
```

別添資料7 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var shusseki = row[3];

var key = classname + "-" + shusseki;

if (!countByPerson[key]) {
  countByPerson[key] = {
    count: 1,
    previousResponse: tenkiResponse
  };
} else {
  countByPerson[key].count++;
}

// 前は「はれ」だったが今回は「あめ」または「かみなり」の場合に抽出
if (
  countByPerson[key].count >= 2 &&
  (countByPerson[key].previousResponse.toString() === INPUT_HARE) &&
  (tenkiResponse === INPUT_AME || tenkiResponse === INPUT_KAMINARI)
) {
  countByPerson[key].previousResponse = tenkiResponse;
  return true;
}

countByPerson[key].previousResponse = tenkiResponse;
return false;}).map(function(row) {
  return [row[2], row[3], row[4]];
});
return filteredData;
}

function filterDeterioratedResponses(dataValues) {
  var countByPersonComp = {};
  var filteredData = dataValues.filter(function(row) {
    var genkiresponse = row[5];
    var classname = row[2];
    var shusseki = row[3];
```

別添資料7 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var key = classname + "-" + shusseki;
if (!countByPersonComp[key]) {
  countByPersonComp[key] = {
    count: 1,
    previousResponse: genkiresponse
  };
} else {
  countByPersonComp[key].count++;
}

// 前は「5」だったが今回は「1」の場合に抽出
if (countByPersonComp[key].count >= 2 &&
countByPersonComp[key].previousResponse === 5 && genkiresponse === 1) {
  countByPersonComp[key].previousResponse = genkiresponse;
  return true; // 抽出対象としてフィルタリング
}

countByPersonComp[key].previousResponse = genkiresponse;
return false;
}).map(function(row) {
  return [row[2], row[3], row[4]];
});
return filteredData;
}

function writeFilteredData(sheet, filteredData, column) {
  if (filteredData.length > 0) {
    var uniqueData = [];
    filteredData.forEach(function(row) {
      var key = row[0] + '-' + row[1] + '-' + row[2];
      if (!uniqueData.includes(key)) {
        uniqueData.push(key);
      }
    });
  }
}
```


別添資料7 付属資料 Google Apps Script コード [サンプル](#)

```
var uniqueFilteredData = uniqueData.map(function(key) {
  var info = key.split("-");
  return [info[0] + ' ' + info[1] + '番 ' + info[2]];
});

if (uniqueFilteredData.length > 0) {
  sheet.getRange(2, column, uniqueFilteredData.length,
uniqueFilteredData[0].length).setValues(uniqueFilteredData);
} else {
  Logger.log("抽出されたデータはありません。");
}
} else {
  Logger.log("該当する回答がありません。");
}
}
```

生徒指導提要（令和 4 年 12 月改訂）（抜粋）

第 8 章 自殺

8.2 自殺予防のための学校の組織体制と計画

8.2.1 自殺予防のための教育相談体制の構築

自殺は、専門家といえども一人で抱えることができないほど重く、かつ、困難な問題です。きめ細かな継続的支援を可能にするには、校内の教育相談体制を基盤に、関係機関の協力を得ながら、全教職員が自殺予防に組織的に取り組むことが必要です。そのためには、校内研修会などを通じて教職員間の共通理解を図るとともに、実効的に機能する自殺予防のための教育相談体制を築くことが求められます。

具体的には、第一に、生徒指導部や教育相談部（教育相談係として生徒指導部内に位置付けられている場合もあります。）など、児童生徒が課題や悩みを抱えたときに対応するための既存の組織を自殺予防の観点から見直し、教育相談機能の実効性を高める必要があります。

第二に、教育相談コーディネーターと養護教諭を構成メンバーの核として位置付け、各学年や生徒指導部・保健部などの他の校務分掌と連携した体制づくりを目指すことが望まれます。その際、次の点に留意する必要があります

① 教育相談コーディネーターと養護教諭との連携を密接にする

教育相談コーディネーターと養護教諭が相談体制の中核となって、児童生徒の生活状況や心身に関する問題についての理解を深め、自殺の危険の高い生徒をスクリーニングします。また、生徒指導部や保健部と合同で生活アンケートなどを実施し、児童生徒が抱える問題点の共通理解を深めることも重要です。

② 教育相談部（教育相談係）と生徒指導部の連携を図る

非行や暴力行為などの問題行動の裏側に自殺の危険が潜んでいることも少なくありません。生徒指導部と教育相談部（教育相談係）が密接に連携して情報を共有し、そのような児童生徒にも積極的に関わっていく必要があります。

③ カウンセリングルームや保健室の日常的活用を進める

児童生徒と最も距離の近い学級・ホームルーム担任と教育相談コーディネーター、養護教諭、SC や SSW が日常的に協力し合って課題解決に取り組む姿勢を保持します。学級・ホームルーム担任は児童生徒の言動の変化に気付いた時点で情報を共有し、連携しながら対応に当たります。そのためには、保健室やカウンセリングルームを密室にせず、児童生徒にも教職員にも開かれた場にしておくことが大切です。

④ 情報を共有して協働的な教育相談体制を築く

問題を学校全体に投げかけ、情報を交換し、学校を挙げて解決に取り組んでいくことが求められます。自殺の危険の高い児童生徒を担任一人で抱え込むのではなく、チームで組織的に対応することによって初めて、安全で丁寧な関わりが可能になります。その際、面談やアンケート、家庭訪問や小中高間連絡会などで得られた情報を十分に活用しながら支援に当たります。

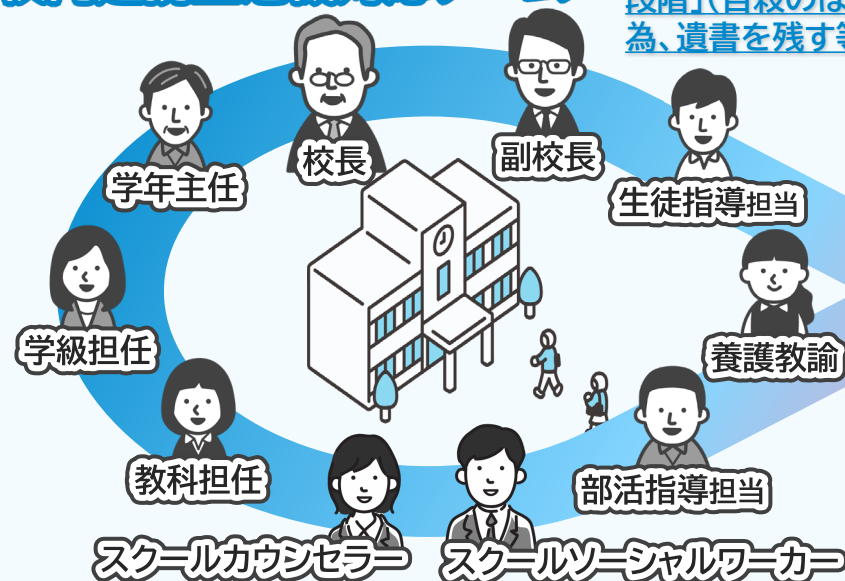
自殺危機の早期発見・早期対応や自殺未遂後の対応

ネットワーク型緊急支援チーム

実際に自殺や自殺未遂が発生した場合に対応

校内連携型危機対応チーム

自殺やその他の重大な危険行為の「予兆段階」(自殺のほのめかし、深刻な自傷行為、遺書を残す等)から対応



校内連携型危機対応チームの役割

- 1 平常時における危機対応のための態勢づくりやマニュアルづくり
- 2 アセスメントに基づいて対応方針や役割分担を決定し、緊密に「報告・連絡・相談」を行う
- 3 自殺や未遂事案が発生した場合は、校長のリーダーシップの下、教育委員会等や専門家、関係機関のサポートを受けながら、全教職員の力を結集して対応
- 4 緊急ケース会議(アセスメントと対応)、本人の安全確保と心のケア

関係部局

- 教育委員会
- 精神科医
- SC・SSWスーパーバイザー等の専門家
- 児童相談所
- 福祉部局
- 警察 等

家庭・保護者

ネットワーク型緊急支援チームの役割

- 1 関係部局とも連携した緊急ケース会議や心のケア会議の開催
- 2 校内連携型危機対応チームを核に、教育委員会等、専門家、関係機関との連携・協働に基づいて、周囲の児童生徒や教職員等への心のケアを含む危機管理体制を構築
- 3 本人及び周囲の児童生徒及び教職員へのケア

▶▶▶ 自殺危機の早期発見や早期対応に取り組むほか、自殺未遂者への支援を実施

生徒指導提要（令和４年１２月改訂）（抜粋）

第８章 自殺

8.2 自殺予防のための学校の組織体制と計画

8.2.2 自殺のリスクマネジメントとクライシスマネジメント

児童生徒が自殺をほのめかしたり、深刻な自傷行為に及んだり、遺書のような手紙やメモを残して家出をしたりといった状況は、自殺やその他の重大な危険行為の「予兆」段階であると捉える必要があります。そのときには、教育相談体制の構成メンバーを基盤に、校長をリーダーとする「校内連携型危機対応チーム」を組織し、危険度に応じた対応を行います（リスクマネジメント）。

児童生徒との関わりが密接な学級・ホームルーム担任や部活動顧問などを加え、アセスメントに基づいて対応方針や役割分担を決定し、緊密に「報告・連絡・相談」を行うことを心がけます。その際、誰が児童生徒や保護者と直接関わるのが適切なのを見極め、その人を中心としてチームで対応します。平常時に、危機対応のための態勢づくりやマニュアルづくりなどを進めておくことが大切です。

実際に自殺や自殺未遂が発生した場合には、校長のリーダーシップの下、「校内連携型危機対応チーム」を中心に、教育委員会等や専門家、関係機関のサポートを受けながら、全教職員の力を結集して対応することが必要です（クライシスマネジメント）。校内連携型危機対応チームを核に、教育委員会等、専門家、関係機関との連携・協働に基づく「ネットワーク型緊急支援チーム」を立ち上げ、周囲の児童生徒や教職員等への心のケアも含む危機管理態勢を速やかに構築します。

事 務 連 絡
令和 7 年 11 月 25 日

文部科学省初等中等教育局児童生徒課 御中

こども家庭庁支援局総務課

こどもが悩みを打ち明けられる環境づくりに向けた広報活動への協力について（依頼）

平素よりこども施策の推進について御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

こども家庭庁では、全てのこどもが健やかに成長でき、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか社会」の実現を目指し、不安や悩みに直面し、つらい思いをしているこどもたちが思いを打ち明けやすい環境をこどもの目線に立って作るために、昨年 11 月、庁内に「こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム」（以下「プロジェクトチーム」という。）を発足させました。

プロジェクトチームでは、令和 7 年 3 月末までにこどもや相談・支援団体、自治体など、延べ 27 の団体等との意見交換を行い、同年 5 月 23 日に意見交換等の内容を踏まえ、こども・大人・社会のそれぞれに対して伝えたいメッセージ等を盛り込んだ「こどもの悩みに寄り添える社会に向けて（中間報告）」（以下「中間報告」という。）（※ 1）を公表したところです。

今般、こうしたメッセージ等を広く社会全体に発信し、機運醸成を図ることを目的として、大人及びこども向けの啓発漫画・啓発動画（別添）を作成し、こども家庭庁ウェブサイト内のページ（※ 2）に掲載しました。貴省におかれては、教育委員会等に対する本件取組の周知について、御高配を賜りますようお願いいたします。

※ 1 中間報告については以下リンク先を御参照ください。

<https://www.cfa.go.jp/councils/nayami-uketomeruba>

※ 2 啓発漫画・啓発動画については以下リンク先を御参照ください。

<https://www.cfa.go.jp/councils/nayami-uketomeruba/koho>

（本件に関する問合せ先）

こども家庭庁 こどもの悩みを受け止める場に関するプロジェクトチーム

〒100-6090

東京都千代田区霞が関 3-2-5

霞が関ビルディング 20 階

E-mail: kodomononayami-pt@cfa.go.jp